

国際教育

地球市民を地域とともに育てよう part 5

報告書



(財) 滋賀県国際協会

実績報告

はじめに

(財)滋賀県国際協会が「国際教育協働推進事業」に取り組み始めて5年目となりました。当初、“国際理解教育”に取り組むために立ち上がったこの事業は文部科学省の動きにともない、平成18年4月より「国際関係や異文化を理解するための“国際理解教育”」に留まらず、さらに発展させた「多文化共生に向けて地球規模の視点を持ち、国際社会で主体的に考え行動する人材を育成するための“国際教育”」に取り組むこととなりました。この間に「国際教育研究会 **Glocal net Shiga** (ぐるーかる ねっと しが)」の立ち上げ(平成14年)をはじめ、滋賀県に暮らす外国籍住民の半数近くがブラジル国籍という現状にあわせた国際教育教材「ブラジルボックス」(平成16年)や、滋賀県在住の外国籍住民の協力を得て、要望の高かった多文化共生を食文化の違いから考える教材「カルタ“わたしん家(ち)の食事から”」(平成17年)を作製しました。外国籍住民が日本で長く生活するようになってきている傾向からも、これらの事業を通し、滋賀県で3万人(P.47「滋賀県における外国人登録者数」を参照)を超える外国籍住民との多文化共生社会の実現に向けて取り組んでいます。

平成18年度は県内各地の学校・自治体などから多く寄せられた国際教育についての相談に対応するとともに、現在の滋賀の現状を伝えてほしいとの要望から参加体験型のワークショップを实践させていただく機会が増えました。また、「ブラジルボックス」・「カルタ“わたしん家(ち)の食事から”」については県内のみではなく、県外での活用が増えたことから、他府県とのネットワークの広がりを感じています。

この報告書は(財)滋賀県国際協会の平成18年度の「国際教育協働推進事業」についてまとめました。学校や地域で多文化共生社会に向けて取り組まれる皆様の一助になることを願っております。

(財) 滋賀県国際協会

ネパールからのメッセージ

Message from Nepal

開発教育協会副代表、帝塚山学院大学教授の岩崎 裕保さん、ネパール人ファシリテーターのカマル フィヤルさんを講師に迎え、ネパールの村を疑似体験し、地域に根ざした参加型学習、PLA (Participatory Learning and Action: 参加型学習と行動) のワークショップを行ないました。

開発教育とは 岩崎 裕保さん

国際理解教育 (Education for International Understanding) は第 2 次世界大戦後、ユネスコが提唱した教育です。ユネスコ憲章では「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」と謳っています。当時の世界の様子を反映しており、国際理解教育では国連研究、平和研究、人権問題研究が行われてきました。続く 1950 年代から 70 年までは「東西問題」という世界情勢を反映し、「他国理解」も加えられていました。1953 年から世界中でユネスコは協同学校とよばれる小学校から高等学校までの学校を組織して研究を続けてきました。70 年代に入ると世界が変わり、日本も途上国から抜け出します。74 年、ユネスコは通称「国際教育勧告」といわれる「国際理解、国際協力および国際平和のための教育ならびに基本的自由についての教育に関する勧告」を出しました。この勧告から国際教育 (International Education) という呼称が始まりました。勧告は市民教育 (Citizenship Education) 「すべての学習の側面をグローバルに」と言っており、「地球的な視野を持って教育に取り組んでいきましょう」という提案です。それまでの教育は基本的には「国民教育」ですね。「アメリカ国民を作る」「日本国民を作る」というものでした。しかしこの 74 年の勧告では「国民教育」の枠で終わらせないでグローバルパーティペクティブ (地球人的視野で考えましょう) を提案しています。さかのぼりますが、スウェーデンは第 2 次世界大戦後すぐ、「教

育の目標は民主的社会の構成員の育成」とすっかり内容を変えました。国家でなく、グローバルなレベルで教育を考え、開発教育に早くから取り組んでいます。

地球市民教育 (Education for Global Citizenship) で求められるのは知識のみならず、技能、態度、行動養成です。日本の「総合的な学習の時間」もこの延長ではないでしょうか。ただ、日本社会で文部科学省が世界的な文脈でこの時間を教員に説明しているか、となると疑問です。「総合的な学習の時間」が導入されたことはとても大きな意味があり、市民教育を進めていくという観点からとても大事です。文部科学省は 1974 年以降も 2005 年まで「国際理解教育」という言葉を使っていましたが、2005 年 6 月には「国際教育」とするとりまとめをしました。それまでの英語教育、帰国子女の教育、他文化理解 (3 F: food, fashion, festival の紹介など) が主流であった「国際理解教育」では不十分とし、これからは技能、態度、行動を養成するところまで行かなければならない、そして NPO、NGO と協力して展開していこう、という文部科学省の提案です。

開発教育 (Development Education)

develop (de + envelop) について考えてみましょう。envelop は「封をする」という意味です。de は否定の接頭辞ですから「封を開く」という意味ですね。「開発」「解き放つ」「解放」という意味です。1959 年にイ

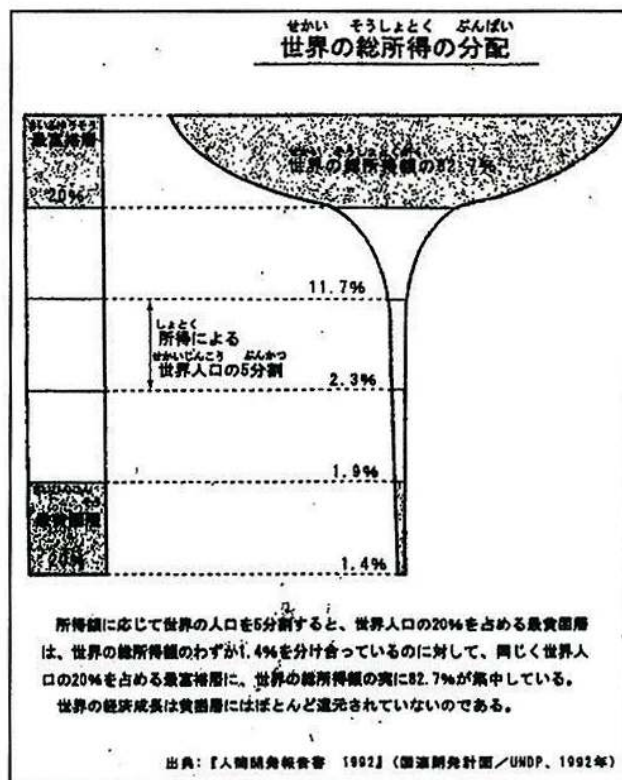
ギリスのロイド銀行会長のオリバー フランク氏がアメリカの議会で「世界には東西問題があるが、問題はそれだけではない、南北の問題がある」と初めて指摘しました。アメリカ大統領ケネディが国連総会で「先進国は各国の GNP の1%を ODA(政府開発援助)として途上国へ出しましょう」という提案をしました。1960 年から「開発の 10 年」が始まり、各国が ODA を出しました。しかし 10 年後の世界はお金を出した側の経済成長が大きく、お金をもらっている側の経済成長が小さかったのです。この傾向は 500 年前から今も変わりません。コロンブスの時代のアジアとヨーロッパの経済格差は 2 倍程度でほとんど格差はなかったのです。ところが今の経済格差は 500 倍、600 倍といわれています。世界貿易がはじまってから格差は広がってきました。この途中で南北問題を何とかしなくては、と国連が動き出しましたが格差は縮まるどころか広がっています。開発教育は人々に格差の問題について考えよう、何とかしよう、という意識を育てる教育です。

「お金を出すだけではだめだ」「多くの人たちがこの現実気づかなければならない」「世論を形成する必要がある、そのためには教育が必要だ」という議論の時期がユネスコの教育勧告の時期に重なります。世界各地で公害や資源の問題が顕在化し、「宇宙船地球号」という言葉や「地球はこのままで大丈夫だろうか」「持続可能な開発が必要だ」といわれ始めたのもこの頃です。世界は相互依存の関係にあるといわれていますが対等な依存関係ではなく資源や食べ物などを北が南に寄りかかっているのです。南にとって「北がなくては困るか」というとそうではない。しかし、北にとっては南がなくてはならない。相互関係にあるというが、「対等な相互関係か？」ということも考えていかなければならない。よく考えると北が豊かなのは南を貧しくしているからだ、という意識が芽生えてきます。

シャンパンガラスの世界

世界の人口を 1/5 ずつにしてみてもその人たちがどれだけの富を持っているかを表した図があります。【図1】トップの 20% の人口が世界の富の 80% を持っています。残りの 20% の富を 80% の人たちで分け合っています。シャンパンガラスのようですね。日本は上の 20%、最富裕層の中に入っています。総所

【図 1】



得のみでなく世界のエネルギー、貿易、貯蓄、投資もこの 20% の人たちが牛耳っています。500 年前ならほとんど寸胴でした。しかし 1:2 の割合が 500 年の間に 65 倍に広がりました。国単位で見ると 500 倍、600 倍の差が出てきます。下がどんどん細り、上がどんどん太っていきました。今の「豊かさ」を続けることが健全なのかどうか、豊かな日本に生まれてよかった、のみではなく「問題がどこにあって誰が問題を生み出しているのか」に気づいていく教育が私たちに必要なのではないのでしょうか。「日本自身が豊かであるのはどこかを貧しくしているのではないか」という認識ができるかどうか。罪意識を作るのではなく、そのために何ができるか、できることからやっつけよう、という教育です。学習の理念は競争から共生へ、異文化理解から多文化共生へ、情緒的理解から共感的・構造的な理解へ。現状維持から自己変革・社会変革へ、と動いてきました。学習内容と目的 (about ~, for ~) はこれまでよく語られてきましたが学習方法 (in ~, through ~) は今まで十分に研究、実践されてきていません。参加型の学習で体験する、知る、考える、行動に結びつけ問題解決につなぐ、それが社会参加につながります。そこで学ぶ方法自体がメッセージを持っているのです。民主的なことを教える教室は民主的でなければいけない、方法そのものがメッセ

ージです。

開発教育が問いかけるもの

安全できれいな水を供給するなど、地球的な諸課題を解決するには世界で使われている軍事費の1/4で足ります。そして約3,000人が亡くなったと報じられたニューヨークの同時多発テロと同じ2001年9月11日の1日だけで途上国では36,615人の5歳にならない子どもが餓死しました。毎日これだけの子どもが亡くなっているにもかかわらず、この問題を解決しないといけないという議論はほとんど出ていません。ユニセフはこれをサイレント・エマージェンシー(静かなる緊急事態)といっています。

「サイレント・エマージェンシーに注意を払ってこなかった結果が9.11」という問題の認識の仕方が私たちにはできているか、これが開発教育が問いかけていることです。

下のような文章があります。みなさん、下線部に何が入るか、今日のワークを通して考えてください。

If I hear it, I _____ it.
If I see it, I _____ it.
If I do it, I _____ it.
If I _____ it, I use it.

→答えの例は11ページ



ネパールからのメッセージ カマル フィヤルさん

私は自分を「ファシリテーター」と規定しています。過去18年間、農村開発に関わってきました。今日はその経験を分かち合いたいと思います。今日は3つのことをやっていきたいと思います。1つは「開発」と

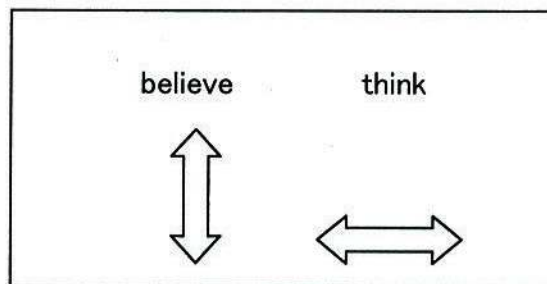
は何か、2つ目はネパールの村を再現しネパールの社会構造を紹介したいと思います。最後に開発に関して私が農村の人々とのように開発を進めるか、ということを紹介します。私はたいてい字の読めない人たちと開発を進めています。今日はその方法を紹介します。日本の山村でもワークをしたことがありますのでそれも紹介しながら進めたいと思います。

皆さんに伺いたいのですが、「think」「believe」の違いをどう説明されますか？

参加者より

- ・「think」は言葉で説明可能、「believe」は言葉で説明できない
- ・「think」は脳で、「believe」が心 等

私は「believe」は考えないでついていく、関係で言うところの垂直関係、「think」はいつしよに考えましよう、という水平関係と考えています。



今日お願いしたいのは

① メモを取らないでください。

私が普段一緒に行動している人はメモを取りません。

② 私を信じ(believe)ないでください。

③ 積極的に参加してください。



「開発」とはなにか

まず、私の考える「開発」について述べます。「開発」にはいろんな定義があり、「開発」にはたくさんのお金が使われています。最初に3人ずつで『開発』とは何かを話し合ってみましょう。

参加者より

- ・モノとか工事とかばかりでなく、人と人とか、自然と文化も一緒に大きくなっていくものかな
- ・「生活を便利にする」というのがイメージ
- ・身近なところから1歩でもいいから変わっていく
- ・ネガティブなイメージがあるけれどいいこともあるのではないかな
- ・「develop」を「開発」と取るか「発展」ととるかで変わってくる「開発」ととったときに、力を持ったところが力を加えてプラスに持っていく「発展」ととったら自分の中から力を伸ばしていくという2つの考え方がある 実際は「開発」が強いかな
- ・「する側」の視点多いが、「される側」の立場はあまりない お互いに影響しあい、自分も変えていく



いつも自分で問いかけていることがあります。今日皆さんといっしょに考えたいのですが、1つの「開発」の定義がすべてに当てはまることがあるでしょうか。北海道で暮らす人々と沖縄の人々の「開発」の意識は一緒でしょうか。違う？ なぜ違うのでしょうか。経験、環境全てが違うので開発と言ってもいろんな違いがあると思います。

「開発」は第2次世界大戦以降によく使われ始め、時に“政策的”に使われてきました。40年代から70年代の「開発」は貧しい場所に技術を伝えるものと思われていました。例えばこの時代にインドで行われた「農業革命」は外国からかなりの資金をつぎ込まれています。でもこの Conventional (top-down)といわれる従来法(トップダウン方法)では革命までには至りませんでした。パンジャブ地方で行われた「農業革命」は始まる前 35%だった貧困層が 50%に増えてしまいました。ここから技術や投資の「開発」は本当の「開発」ではないのではないか、住民と直接話し学ぼうでないか、と People-Centred (participatory)といわれる住民中心法(参加型法)の方法がとられるようになったのです。【図2】

【図2】

Development Approach

人々への近づき方

Conventional (top-down)
従来法 (トップダウン法)

People-Centred (participatory)
住民中心法 (参加型法)

PRA (Participatory Rural Appraisal) 参加型農業評価
PLA (Participatory Learning and Action) 参加型学習と行動

PAR

⋮

ネパールの農村の風景

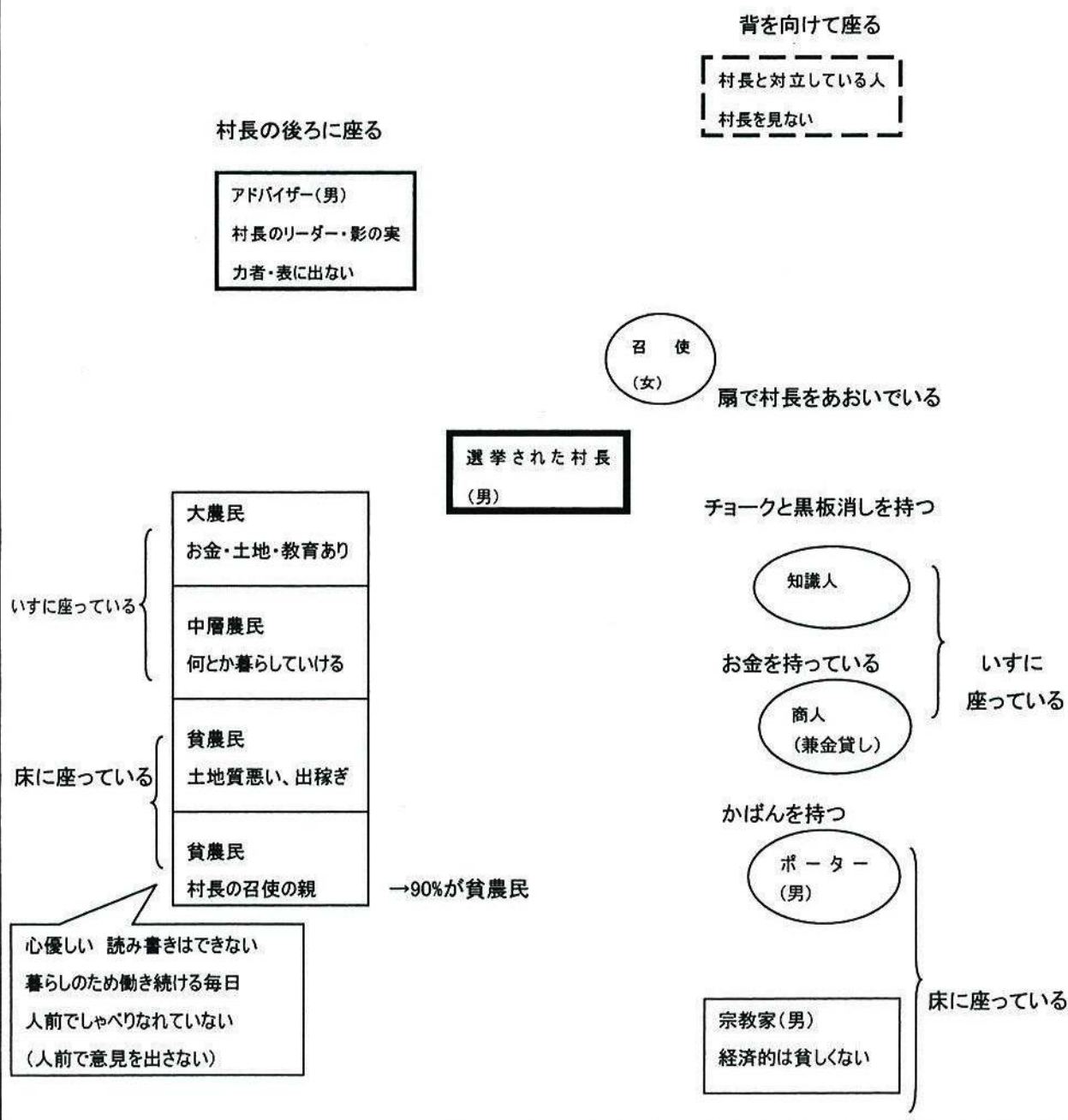
ネパールの政治体制の最小単位は「村」です。VDC (village development community) といいますが、ここでは「村」と呼びます。多くの村が集まって district (地区＝日本の県) ができます。これが集まり region (日本の地方) になります。みなさんにこれから訪れていただくのは町から歩いて3時間離れている人口1000人ぐらいの村です。私が10年ほど通っている村は歩いて2日間かかります。3時間は近いほうです。単一民族ではなく複数の民族が住んでいます。日本のように皆が同じではなく、顔も考え方も違う多

言語の村です。さて、ロールプレイでそのような村をここに形成していきましょう。



【下図】参加者1人ひとりに役割を決めていきました。

ネパールの社会状況再現



これはどこの村でも言える構造です。国と見ても可能だと思います。「開発」は、誰の「開発」でしょうか。「人々のための開発」といいますが、みんな人々です。「参加型開発」と考えたとき、誰にとっての「参加型」なのでしょうか。

さてこの社会にファシリテーター(カマルさん)が入ってきました。「農村開発」として入ってきたのだからみんなのためになるような「開発」をしたいと考えています。村のみんなに集まってもらい、話し合います。

「どんな問題を抱えているか」と尋ねたとき、1番に答えるのは村長、2番目はアドバイザー、そして大農民、知識人、宗教家たちですね。社会の90%が貧農民ですが、声を発することはありません。もし話したとしても言うことは「村長さんの言う通り」のみです。

さて2問目の質問は「村の中の持つ問題はすべて同じでしょうか」です。例えば村長の問題は「道路がほしい」「電気がほしい」などですね。ですが貧農民は「生活を楽にしてほしい」という問題があがります。ここで気がついてほしいのは「参加型」というのはみんながしゃべることではありません。一同に会してしゃべったから「参加型」ではなく、それぞれが現実を見て素直に心から声を出せるかがポイントになってきます。その方法は「貧農民だけ集めて話す」などが考えられます。心底これが必要だ、と言えるかが大きなポイントです。村に占める人口の中で一番多くても、字が書けない、読めない、お金がない、余裕がない等の理由から人前に出ることがない人たちのニーズをつかむのは難しく、そのニーズをどう拾い上げるかがファシリテーターの重要な点です。「権力者が悪い」といっているのではありません。現実から「何が必要なのか」というのを考えるのが必要です。私がやってきた「People Centred」は「彼ら(貧農民)が何を必要としているか聞いてみよう、彼らの声を生かそう」というものです。

グループワーク

4つのグループ

大農民／中層農民／貧農民／ポーター

各グループでどんな問題を抱えているか、6つずつ挙げる。

<大農民／中層農民>

…文字で挙げる

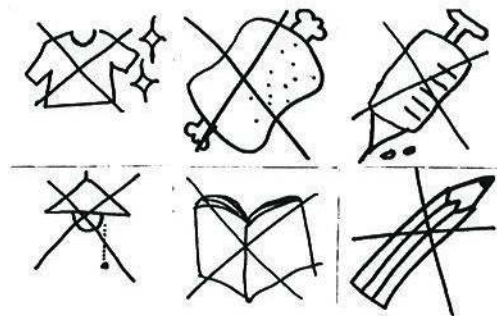
- ・ インフラの整備
- ・ 生産性競争
- ・ 環境整備
- ・ 家族を養いきれない
- ・ もっと土地を増やして収穫を多くしたい

...



<貧農民／ポーター>

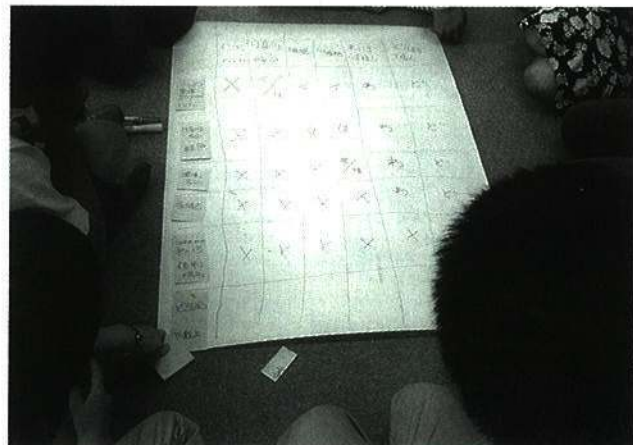
…字読めないなので絵で挙げる



総当りランキング（ペアワイズランキング）

次に行なう作業は6つの問題で総当りランキング（ペアワイズランキング）です。前の作業で挙げた6つの問題の中から2つずつ比較しながら考えていき、6つの中での順序を決める方法です。この方法は課題を考え、優勢順位を考えるときに論理的にできます。【図3】

文字を使うので、文字を理解する大農民・中層農民のグループで使います。



大農民グループのランキング結果：

- ① 今の体制をどうやって維持するか
- ② 泥棒などの対策
貧農民の対策
- ④ インフラの整備
- ⑤ 生産性のあげ方
- ⑥ 後継者

【図3】

中層農民グループの総当りランキング結果

	家	学校	土地	貯金	貧農民	人
大きい家がほしい		学校	土地	貯金	家	人
学校に子どもを行かせたい	×		学校	貯金	学校	学校
もっと土地がほしい	×	×		土地	土地	土地
貯金ができない	×	×	×		貧農民	人
貧農民のケアまで気が回らない	×	×	×	×		人
人を雇いたい	×	×	×	×	×	
合 計	1	4	4	2	1	3

（赤字：合計の出し方を説明）

ランキング結果：

子どもによりよい教育を受けさせる、土地がほしい、という点が重要視された。人を雇いたいが、お金がないので、貧農民のことまで考えられない。



貧農民グループのランキング結果：

- ①「食べ物」
- ②「きれいな水」
- ③「土地がほしい」
- ④「家がほしい」
- ⑤「読み書きができるようになりたい」
- ⑥「医療」

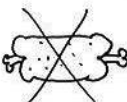
豆ランキング（マトリックスランキング）

グループワークで貧農民・ポーターは字が読めない
ので、絵でそれぞれの問題を挙げましたね。ラン
キングも文字を使わずに進めます。各自、豆を21コ
持ち、深刻な問題には豆6コ、次は5コ、4コ、3コ、2
コ、1コと豆を置いていきます。最後に豆の総数を数
え、関心の高い問題をみつけていきます。【図4】



【図4】

ポーターグループの豆ランキング結果

						
参加者 A	6	4	5	2	1	3
参加者 B	6	5	3	1	2	4
参加者 C	6	3	5	2	1	4
参加者 D	6	4	5	1	2	3
参加者 E	6	4	5	3	1	2
参加者 F	4	6	5	2	3	1
合計	34	26	28	11	10	17

ランキング結果：

深刻な問題は「食べ物」。それに「医療」、「教育」、「休みのない労働」、「家族と一緒にいられない」、「電気がない」などが続いた。

このようにいろいろなランキングの方法があります。今日紹介したのは優先順位をつけるために行なう方法です。課題を見つけるときなどに使います。マトリックスランキングは特に文字を知らない人が使います。

ペアワイズランキングやマトリックスランキングは日本では知られていませんが、世界ではよく使われている方法です。「この村にはどういう資源があるのか」を考える場合は他の方法を使います。

農村の人々とどのように開発を進めるか

ランキングをすべての最初に使うわけではなく、関係作りから始めるのです。まず信頼関係を数ヶ月かけて作り、いい関係ができてから **Situation Assessment** (状況評価) を行ないます。村の課題を現状認識していくのです。女性グループ、子どもグループなどもグループワークを積み重ねて状況評価を行なっていきます。

「問題を何とかしなければならぬ」というところまできたらこの問題についてどうしていくか考え始めます。これはそれぞれの階層のグループで別々に行ないます。一緒に行なうと先程紹介したように社会的な背景で言いたいことも言えなくなりますよね。信頼関係ができれば他のグループを支援したい気持ちも出てきます。

2年後、5年後はこうありたい、という計画ができる
と村の中で物的・人的資源を考えます (**Resource Management: 資源管理**)。

村の中のみではできないことがあったら、ここで初めて村の外に求めます。最初から外の物資・金銭に頼ることはいけません。村の外に頼ることは最後です。私たち(土地の人+ファシリテーター)には「これが不足だ」とわかってからです。ここまできて初めて **Implementation** (実行) に移します。そして **Evaluation** (評価) します。現状認識ができるかによって後のプログラムの成り行きを決定します。

どうやって **Rapport Building** (よい関係) を築きますか。一緒に飲みますか。権力をもっている人の話は聞けますが、そうでない人の話をどうやって聞きましょうか。例えば医者はずよく聞きます。そして検査します。村でも同じようにしていくのです。今日やったいろいろなランキングを使い、問題は何か、その原因はなにか、全体像を探していきます。イギリスや日本の何ヶ所かでもこのようなワークをしてきました。全く

同じことです。ネパールの問題だけの解決方法とは考えないでください。これは外から来た人が何かをするのではなく、現場の人が自ら行なう方法です。

最後に

私は「開発＝幸せを分かち合う」といっています。そこにいる人たちと幸せを分かち合えるかが大切です。モノではない、スピリチュアルなものです。「便利だと言うことが幸せか」ということをしみじみと感じるようになりました。「24 時間オープンのお店」、「リモコンで動く社会」・・・、数えだしたらきりがありません。しかし日本は年間 35,000 人、1 日 100 人が自殺する社会です。各都道府県別では 1 日 2 人です。便利だからといって幸せか、というと必ずしもそうではありません。便利さを求める開発か、幸せを求める開発か、考えていかなければなりません。

5 ページの岩崎さんの問いかけへの答え たとえば

If I hear it, I forget it.

If I see it, I remember it.

If I do it, I understand it.

If I discover it, I use it.

岩崎裕保さんプロフィール.....

帝塚山学院大学文学部国際文化学科教授。(特活)開発教育協会副代表理事。開発教育研究会運営委員長。NGO-JICA 協議会開発教育小委員会委員。ESD-J 理事。ニュージーランド学会理事。同志社大学法学部政治学科卒業。同志社大学大学院アメリカ研究科修了。
著書『新しい開発教育のすすめ方』I・II (古今書院)
訳書『地球市民教育のすすめかた』(明石書店)
『非核と先住民族の独立をめざして』(現代人文社)

カマル フィヤルさんプロフィール.....

2006 年前期、関西学院大学社会学部客員教授。カトマンズの高校教員を経て NGO、アクションエイド・ネパールのコーディネーター、チーム・マネージャーを務める。UNFAO のコンサルタントを務めた後、フリースランスのコンサルタントとして活躍する。日本にも多数来日し各分野でファシリテーターを務める。

PRA (Participatory Rural Appraisal) 「参加型農業評価」

PLA (Participatory Learning and Action) 「参加型学習と行動」について

「PRA」は開発段階で地方の人々の参加を引き出すため、農村地域で始められました。その後、政府や NGO が都市部でも応用し始めました。「PRA」は周辺に追いやられた人々をエンパワーメントして、共同して作業することに有用です。そのうち Rural (PRA の「R」) を使うことに疑問が挙がりました。さらに「PRA」はコミュニティの評価のみならず「変化への行動を創り出すこと」に使われています。その結果、Appraisal (PRA の「A」) を使うことはふさわしくないため、ここでは「PLA」を使うようになりました。しかし「PRA」の名ですでに定着しているのでここでは「PRA」は「PLA」の意味も含んで使っています。

PRA・PLA 比較

PRA

- ・1980 年代より始まる
- ・主に農村地域で行なわれる
- ・コミュニティ調査で開発過程で使われる
- ・主に PRA 手法を使う

PLA

- ・1996 年以降に始まる
- ・農村部と都市部の両方で使われる
- ・地方の人々と共に行動し、開発を行なうために使われる。
- ・PRA 手法を含め多くの参加型手法を使う
- ・継続てきな変化を受け入れ、広く一般に受け入れられる

* カマルさん資料訳す

地球市民を地域とともに育てよう part 5

世界の課題からジェンダーを考える

日本で男女共同参画社会基本法が成立して7年。(財)世界人権問題研究センター専任研究員／ユニフェム大阪会長の三輪敦子さんを講師に迎えて、日常生活で見え隠れするジェンダーの問題を開発教育の視点からとらえ、世界の課題とともにジェンダーを考えるワークショップを開催しました。

<午前の部>

イントロダクション

三輪 私が携わってきた国際協力と呼ばれる現場は、政府開発援助の国際協力でも、NGOの国際協力でも、日本の私たちが持っているジェンダーが色濃く反映されています。日本国内でうまくできないことを「国際協力」という名の下で海外で行おうとしてもうまくいかないと痛感しているので、その観点からも国際協力分野でジェンダーを考える時にまず、日本のジェンダーをきちんと認識することがとても重要だと思います。

「ジェンダー理解」のイントロダクションですが、<ジェンダー>、<男女共同参画>、あるいは<男女共生教育>という色々な呼び方で、ジェンダーに関係するトピックが学校の中で話題になることが多いと思います。「ジェンダー理解」の必要性を一言で簡単にまとめると、自分自身を肯定的にとらえるということです。そして無理やり何かに押しつけられた枠に自分をはめ込もうとせずに、あるいははめ込むことから自由になって自分らしく生きるために、ジェンダーに関する理解はとても重要なことだと思います。今

日参加していただいた皆さんも、なるほどそうだと思う帰っていただくのが、私の今日の最大の目的です。

次になぜ、「学校でジェンダーか」という問題も挙げたいのですが、端的に言って、家庭、メディアと並んで学校は、最もジェンダーの刷り込みが強く行われる場所だと思います。学校の中でのジェンダーの存在に気がついていただく。その前提として、私たち自身が身につけているジェンダーに気がつくということがとても重要です。

ジェンダー意識をさぐる

三輪 「考えてみてください！」(14ページ参照)ということで、女性の方へ3つの設問、男性の方へ3つの設問を出しました。今、座っていらっしゃるグループの中で話し合ってくださいませ。ジェンダーが厄介なのは、無意識の中に潜んでいる場合も多々あります。皆さんの小さい頃の経験、先生、あるいはお父さん、お母さん、周りの友達に言われたことを思い出してみてください。

三輪敦子さんプロフィール.....

日本赤十字社外務部でネパール飲料水供給プライマリーヘルスケアプロジェクトの運営管理に携わった後、国連女性開発基金(ユニフェム)アジア太平洋地域事務所(バンコク)で女性の自立やエンパワメントを支援するプロジェクトの運営管理・実施支援に携わる。帰国後、国際協力におけるジェンダー配慮や参加型開発に関連した調査研究に従事するとともに、ユニフェム大阪、ODA 改革ネット、地球バンク、AM ネット等の NGO で活動。(財)世界人権問題研究センター専任研究員。大阪女子学院大学、龍谷大学等、非常勤講師。サセックス大学開発問題研究所修士課程(ジェンダーと開発)修了。



講師の三輪敦子さん▲

出すと高校、あるいは中学・小学校でも意見が出てくる可能性はあると思います。

ジェンダーとは？

三輪 ここで「ジェンダー」という言葉について、改めて確認したいと思います。考えていただきたいのですが、「女」と聞いて、あるいは「男」と聞いて、今、頭の中に浮かんだ言葉、名詞でも形容詞でもいいです。いくつか書き出してみてください。これはジェンダーのワークショップをしているということを考えなくてよいです。素直に出してみてください。

後ろのボードの左に「男」、右に「女」と書いています。思いついた言葉をどんどんこのボードに書いて下さい。

男

青、堅い、ネクタイ、上下(かみしも)、弱音が吐けない、ひげ、力が強い、さわやか、あっさり、単純、黒(ランドセルの色)、力、土木、車、バイク、株、魚釣り、たくましさ、筋肉、パイプたばこ、ギター、ハードロック、バイク、車、家長、スポーツ、下品な雑誌、一家を支える、だらしない、活動的、大きい、力が強い、頑張り、父、力仕事、頼りがい、機械好き、包容力、動、黒

女

性、赤、子ども、化粧、優しさ、繊細、よくしゃべる、ねちねち、母、丸い、たおやか、言語に強い、美しい、優しい、細かい、優しさ、出産、世間話、ピンク、丸い、美しさ、かわいさ、たくましさ、海、ダイエット、黒髪、口紅、ネックレス、子どもを産む、掃除、料理、赤(ランドセルの色)、したたか、授乳、母性

男

性、赤、子ども、化粧、優しさ、繊細、よくしゃべる、ねちねち、母、丸い、たおやか、言語に強い、美しい、優しい、細かい、優しさ、出産、世間話、ピンク、丸い、美しさ、かわいさ、たくましさ、海、ダイエット、黒髪、口紅、ネックレス、子どもを産む、掃除、料理、赤(ランドセルの色)、したたか、授乳、母性

女

青、堅い、ネクタイ、上下(かみしも)、弱音が吐けない、ひげ、力が強い、さわやか、あっさり、単純、黒(ランドセルの色)、力、土木、車、バイク、株、魚釣り、たくましさ、筋肉、パイプたばこ、ギター、ハードロック、バイク、車、家長、スポーツ、下品な雑誌、一家を支える、だらしない、活動的、大きい、力が強い、頑張り、父、力仕事、頼りがい、機械好き、包容力、動、黒

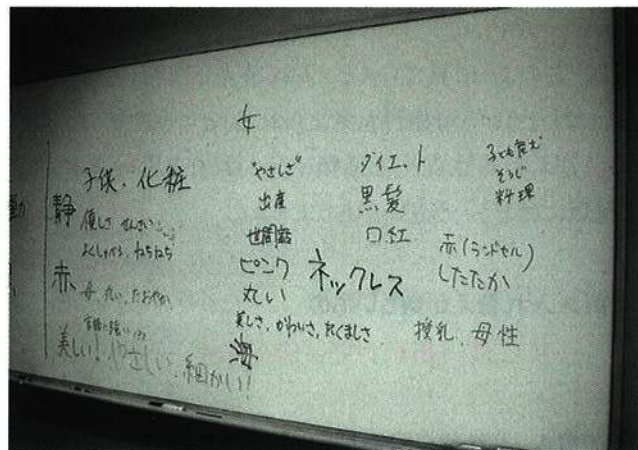
三輪 では、こういうことをしてみましょう。「男」と「女」を入れ替えてみました(上図)。「女」の性質の連想として、青、女で堅い、ネクタイをつける女性、ファッションとしてネクタイをつける女性いますね。^{かみしも} 上下、上下というのは男性の服ですかね。だけど、上下って違う意味で使われることもありますよね。建前とか、あるいは非常に形式張ったというような内容で使われる時もあります。そういう意味合いで考えると、上下をはいたような考え方をする女性だとOKですか

ね。

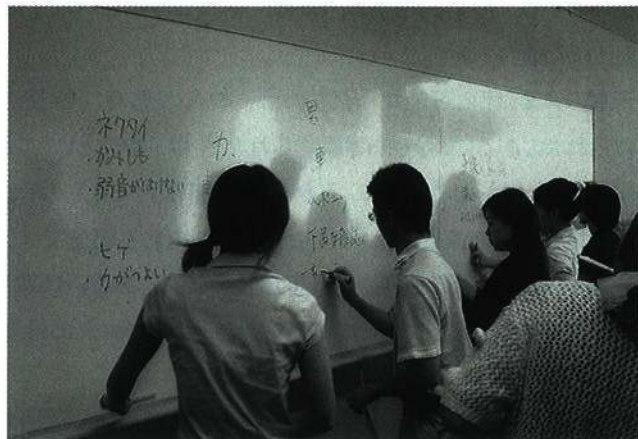
弱音が吐けない女性、いますよね。ひげが生えている女性、あまり日本ではないのですが、外国に行くと時々見かけることがあります。力が強い、さわやか、あっさり、単純、あり。黒いランドセルを持っている、学校によってはそういう学校ありますよね。力が強い女性、土木をやる女性、車、バイク、株、魚釣り、OKですね。たくましさ、筋肉、パイプたばこ、ギター、あり。ハードロック、バイク、車、出ましたね。家長、家長である女性いますよね。スポーツをやる女性、いますよね。下品な雑誌、ありますよね。一家を支える女性、だらしない女性、活動的、大きい、力が強い。

「父」、それはない。特に生物学的な意味での「父」というのは、こう取り替えてしまうとちょっと難しいですね。シングルマザー、シングルファーザーの家庭なんかで、社会的に求められている父としての役割をこなしている女性ならいるかもしれません。力仕事とか力作業をやる女性、あり。頼りがいがある女性、機械好きな女性、包容力がある女性、頑張る女性、動的な女性、黒を着る黒のイメージの女性、OKですね。

次、「男」にいきます。子ども、OKですよ。化粧、最近



▲▼「ジェンダーとは？」
「女」「男」と聞いて頭に浮かんだ言葉をホワイトボードに書き出した。



いますよね。優しい男性、繊細な男性、よくしゃべる男性、ねちねちした男性、赤が好きな男性。「母」、これさっきの「父」とちょっと同じ範疇ですね。

丸い男性、いますよね。たおやかな男性、周りにはいませんか。でも、歌舞伎の世界の男性とか見ているとたおやかという感じがびったりするような人もいらっしやいますよね。言語に強い男性、もちろんいますよね。美しい男性、優しい男性、細かい男性。「出産」、ここはちょっと難しいですね。世間話が好きな男性、ピンクが好きな男性、ピンクをまとっている男性、丸い男性、美しい男性、かわいい男性、たくましい男性、海のような男性、これもOKですよ。ダイエットする男性、黒髪が美しい男性、口紅を塗る男性、身近にはあまりいませんか。最近、これもありますよね。ネックレスする男性、ありますよね。

「子どもを産む」、ここはちょっと難しい。掃除、してもらいたいですよね、男性にも。料理、これもしてもらいたいですね。赤いランドセル、実際にごらんになったことはないかもしれませんが、可能か可能でないかで言うとも可能ですね。したたか、OK。授乳、母性はどうでしょう。世間で母性、あるいは母性的な性質というものを備えた男性ということだと、これもOKかと思います。

三輪 このように見ていくと、入れ替えした時に、「OK」あるいは「そういう可能性も考えられる」という性質と、「難しい」と思われる性質と、2種類に分かれたと思います。この2種類にはどういう違いがありますか。

<例>入れ替えが難しいもの

「父」「母」「出産」「子どもを産む」

参加者A 入れ替え可能なものは、基本的に人間としての特長、性格、性質、もしくは思考などです。入れ替えが難しいものは、生物学的な役割・機能に密接にかかわっている部分が大きいです。

三輪 入れ替え可能だったものは、本人の思考に特長づけられた、あるいは趣味等に彩られた性質、特性ということ。まさしく今言われたように、入れ替え不可能だったものは、生物として私たちに備わった機能・役割である部分です。それに対して他に取り替える可能性がある、あるいは取り替えてもOKとなっているものは、それ以外の個人の性質、好み・役割だったりするものになります。

ジェンダーは、この男女にまつわる2種類の違いのうち

の、私たちが自分の頭の中に育ててきた、あるいは持っている男女の違い、性差ということになります。



ジェンダーは入れ替え可能だから、私たち一人一人がそれぞれ違うはず。だけど、最初に、「男」と聞いて頭に浮かぶ、「女」と聞いて頭に浮かぶ言葉を皆さんにお願いしたことから気づいていただけたと思いますが、ある社会、時代の中に組み込まれた男女に対する期待とか役割が反映された性質になっています。ジェンダーですが、一般的には性差を示す概念として理解をされていて、定義を出すとすると、「文化的、社会的性差」と簡単に説明されていると思います。その「文化的、社会的性差」に説明されている言葉の中身が一体何なのかということ、今のワークショップを通じて皆さんに理解してもらいたいのです。ジェンダーをきちんと理解するためには、それとはまたもう一つ違う性差があるということも理解をしてもらう必要があります。

そのもう一つの違いが、セックスです。ジェンダーの非常に重要なところは、性差には2種類あるのだということを明らかにしたことです。男と女という言葉だけで理解されていた性差に、2種類の違うものがあるという画期的な理解を持ち込んだのがジェンダーという概念だと理解してください。入れ替えが難しいものは、皆男女のセックスに基づく違いになります。実は、そんなに多くありません。これは生物学的な違いに基づいています。場所によって、あるいは時代によつては変化しません。少なくとも今の時代では普遍的と言うことができます。セックスは生物学的な意味での父と母、出産、授乳、卵子、精子などの違いです。それに対してジェンダーは、何が規定しているかという国、社会、時代の文化、習慣、宗教、経済です。場所、時代によって変化します。日本のジェンダーと他の国のジェンダー、これも大きな違いがあります。

ジェンダーとは……？

性差を示す概念です。

一般的には、セックス＝生物的性差、ジェンダー＝文化的・社会的性差というように簡単に説明されています。

	セックス(Sex)	ジェンダー(Gender)
何に基づく？	生物的な違い	文化的、習慣的、宗教的、経済的な違い
場所によって？	変化しない	変化する
時代によって？	変化しない	変化する
簡単にいうと？	(一般的な意味での)性別	女らしさ／男らしさ
例えば？	(生物的な意味での)父／母、出産、授乳、卵子／精子	・女子は文系、男子は理系 ・女性ほうわさ話が好き ・清書は誰か字のきれいな女子に頼んで ・男の子は、そんなに泣かない ・女の子なのだから部屋の掃除くらいしなさい ・やっぱり男はちゃんと就職しないと ・(成績の良い娘に向かって)あんたとお兄ちゃんが逆だったら良かったのにねえ… ・男に入れてもらったお茶なんて飲む気がしない ・(赤い服を着ている赤ちゃんに)えっ、女の子かと思った ・誰か男の人出して

簡単に言うと、「女らしさ」とか「男らしさ」という言葉で表現すると一番分かりやすいかもしれません。「女性ほうわさ話が好き」「清書は誰か字のきれいな女子に頼んで」「男の子はそんなに泣かない」「女の子なのだから部屋の掃除くらいしなさい」「やはり男はちゃんと就職しないと」「成績の良い娘に向かって、『あんたとお兄ちゃんが逆だったら良かったのにね』『男に入れてもらったお茶なんて飲む気がしない』『赤い服を着ている赤ちゃんに、『女の子かと思った』これは本当によくありますね。

ジェンダーは、私たちが私たちであるために、自分のことを自分として受け入れるために、重要な一つの部分であり、ジェンダーを理解しないで育つと、これについて振り返るきっかけもなくなる。逆に言うと、ジェンダーを理解できれば、それは「どうしてそんなふうに言う必要があるのだろう」とも考え直すことができる意味で重要な概念なのではないかと思います。

参加者B そういう系列の本がよく出されましたよね。「地図の読めない女」とか。どちらかと言うと反論するために読みましたが、それに流される人って結構多い。世間的に「受ける」から。例えば、「赤ちゃんの顔を見た時に一瞬で瞳をぱっとよく開くのが女の人」と、さもあらなんみたいに語られる時があって、たくさんの人がそれになびいてしまうので、どうなのかなとよく考えます。

三輪 その問題は、「性差の科学」のところで扱おうと思っていたのですが、『話を聞かない男、地図が読めない女』があんなにベストセラーになったというのはすごいです。今、この「性差の科学」ははやっているのです。私も実際

に話を目の前で聞いてかなり愕然としました。

「性差の科学」というのは、今言ったジェンダーの違いです。例えば、「包容力がある」「優しい」「言語に強い」なんか「性差の科学」の人が好きそうな男女の性質ですけどもジェンダーの考え方に基づくと、これは生物的にもともと決まっている違いではなくて、社会的に作られている部分がとても大きいと言っているわけです。

だけど、「性差の科学」をやっている人の中には、「男女の肉体的な違いによって決定されている部分がある」と考える人があります。脳を非常に細かく調べられて、男女間にはこれだけの差があるというデータを出してこられるのです。気をつけないといけないのは、「差があるから地図が読めない女、人の話が聞けない男のような性質につながるのじゃないか」とまじめに説得力を持たせておっしゃることです。

少なくとも言えることは、脳に優位な差はあるかもしれないけれども、そこから地図が読める、読めない、人の話が聞ける、聞けないという結論に持っていくだけの十分な科学的根拠はないというのが、今のところの状況です。特に理科系に弱い人はデータを見せられると、何かひるんでしまうところがありますよね。そういうところに便乗しているような気配が無きにしもあらずです。

もう一つは、例えばこんなことを人種間で言ったら、絶対に今の世の中通らないはずですけども、これが男女間では通ってしまうところがジェンダー問題の難しさだという気がします。つまり黒人と白人の間に、今言ったような、ある器官に優位な差があるから、例えば職業的に白人

はこれに向いている、黒人はこれに向いていると分けるのは、今の社会では絶対に言えないことです。ジェンダーについては、そういう議論につながりやすい論理を組み立てられる時があるので、ぜひ皆さんこういう議論を目にされたら気をつけて下さい。『ニューズウィーク』でも「性差の科学」という特集が行われていますが、結論まで持つていくには、三段跳びみたいなものが含まれているような気がします。

教科書、メディアのジェンダー

三輪 残りの時間で、教科書、メディアのジェンダーについてみていきます。まず、「教科書に現れるジェンダー」というタイトルがついた表を見て下さい。これは 2001 年度に京都市で採用されていた3年生の教科書を使った簡単な調査の結果です。それから、もう一つ、「アニメに表れるヒロイン像」という表(20 ページ)があるかと思います。これは、斎藤美奈子さんという方が書かれた『紅一点論』という本をまとめた表です。それから、大阪市がやった「女の子

の育て方、男の子の育て方」(19 ページ)に関する調査結果があります。女の子をどんなふうに育てたいか、男の子をどんなふうに育てたいかを女性に聞いた結果が左、女の子、男の子をそれぞれどんなふうに育てたいかを男性に聞いた結果が右というグラフになっています。

この3つの表を使って、気がついたこと、あるいはびっくりしたこと、面白いなと思ったこと、何でだろうと思ったことを、グループ内で出し合ってください。

三輪 大阪市の調査で、家庭でのジェンダーに基づく男の子に対する期待と、女の子に対する期待が、統計的にはっきりと出てきているのは、私にとって驚きでした。「愛嬌があり誰からも好かれる」というのは、完全に女の子に期待しています。「物事を最後までやり抜く」「たくましく頼りがいがある」これは男の子に期待しています。ボードに出していただいたジェンダーにも出てきているような性質がここにもたくさん表れていますけれども、私たちはこういう中で育ってきているのです。まずそれをはっきりと認識すること

教科書に現れるジェンダー

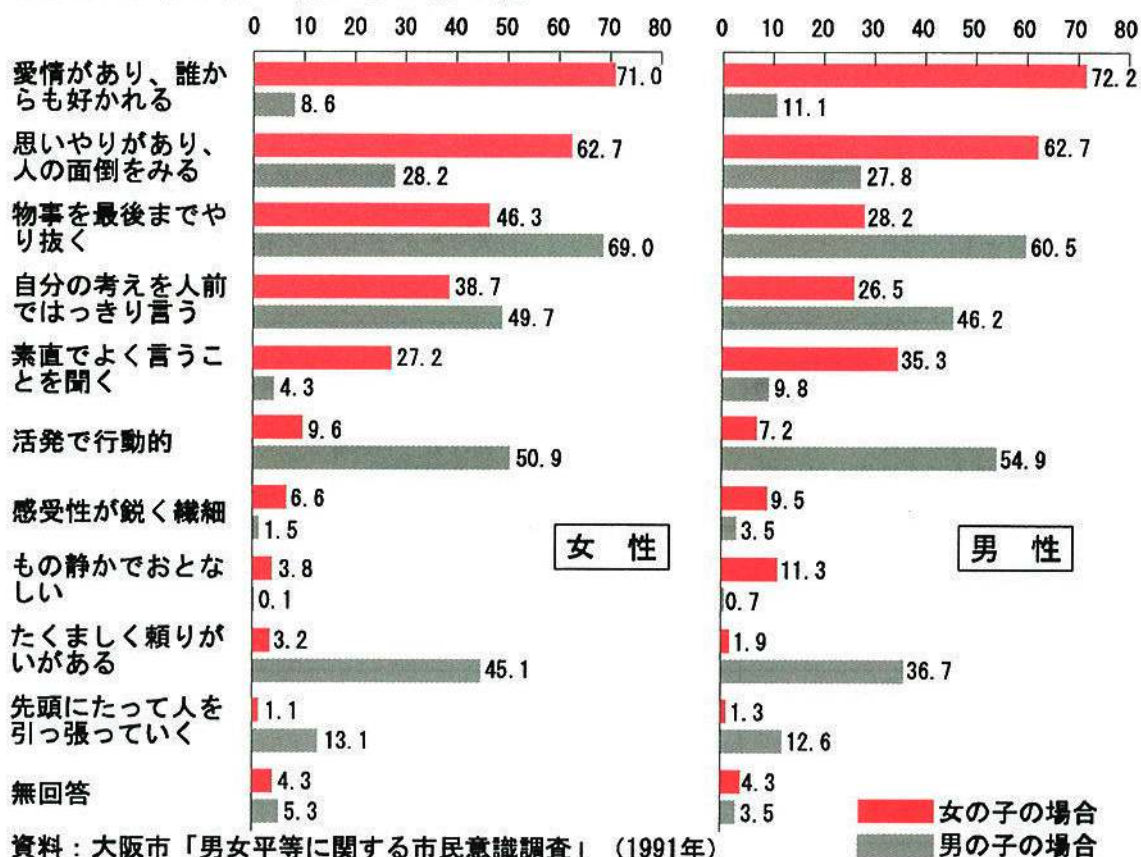
3年生の教科書から(2001 年度京都市使用)

小学3年生の国数理社図工の教科書をジェンダーの視点から検証してみました。ポイントは以下の二点になります。

- ①教科書のなかに使われる題材やイラスト等が男性中心(優位)、あるいは女性中心(優位)的メッセージを送っているかどうか
- ②女性、男性の役割に関するステレオタイプを助長するような描かれ方があるかどうか

	どちらかを優位に描いているか	性別役割に関するステレオタイプ
国語	「ぼく(わし、おら)」で語られる話と「わたし」で語られる話はそれぞれ5つずつ(エルマーは一人称の言葉は出てこないが「ぼく」に入れた)。だが、挑戦、冒険、達成といった内容の話は「つり橋わたれ」を除いて「ぼく」の話だった。 また、解説のところで現れるイラストは、どれも「男の子が話をリードして、女の子が話を受ける」内容と描かれ方になっている(例えば上 13 ページ)	「ピアノを弾く」のは女の子、「綱引きをする」「たこ揚げをする」のは男の子というように、かなりステレオタイプの記述が見受けられる(上 83 ページ)。男の子が女の子にプレゼントを渡し、女の子が恥ずかしそうに受け取っているイラストには苦笑してしまった。
算数	男の子が最初あるいは上に描かれている箇所が圧倒的に多くてびっくり(男の子 43 件、女の子 20 件)	かなりステレオタイプに沿ったイラストが多い。上 20 ページのピクニックのイラストではステレオタイプは感じられないのだが、お買物をする、みかんやケーキを配るといった役割は必ずエプロンをかけた女性。公園でサッカーは男の子。
理科	写真、イラスト等で、特にどちらかが中心的に描かれているということはなかった(男の子が中心、女の子が中心に描かれていたのはどちらも 11 件ずつ)	男の子が調べて女の子が記録するというパターンの描かれ方が2件、その逆が1件だった。
社会	農作業をしている場面で男性が前面(中心)に、女性が背景(補助)にというような描き方はあるが、全体としてはどちらかに偏った描き方は少なかった。 女二人、男二人のナビゲーター役は全員ほとんど同じ回数で登場し、皆～さんと呼ばれていて配慮を感じさせる	家族全員で新聞のちらしを見ていたり、男性が背広姿でスーパーで買い物をしていたり、意識的な努力が非常に感じられる内容。また、「女性が機械をうまく使っている」といった記述もある。 一方で、現実の反映とも言えるが、工場で話を仕切っているのも商店街の振興会の人も男性。 郷土史を学ぶところでは、洗濯、風呂炊き、炊事等は皆女性で、ステレオタイプの。(本当にそうか?)
図画工作	特に見あたりませんでした	特に見あたりませんでした

女の子の育て方・男の子の育て方



が重要だと思います。

三輪 「アニメに表れるヒロイン像」はアニメというのは男の子の国と女の子の国にはっきりと分かれているということです。最近は女の子も変身して戦っていますが、どこかで窮地に陥ったりすると、王子様みたいな男性が飛んでくるという展開は多い気がします。また、頑張る女性は悪の帝国の女王というのが一番多く割り当てられている役どころです。最後には必ず負ける存在として描かれていることが多い。魔法少女と虹の戦士が今の社会では一番生きやすい、一番求められているということをアニメは伝えているということです。

三輪 教科書に表れるジェンダー差は、例えば国語では、男の子が主人公の話、あるいは男の子がチャレンジする話が多いのが現実です。絵本を探しても女の子が活躍する絵本が少ないので、物語の世界では女性が活躍する話が絶対的に少ないという現実もあるのでしょう。高校の教科書を見ると算数も、男の子が優位、男の子が最初に視線に入ってくるような描かれ方をしているところに気がつきました。ただ、理科なんかは、非常に配慮が行き届いた記述です。社会の性別役割に関する項目で、郷土史では、洗濯、風呂炊き、炊事等はみんな女性でステレオタイプの。どのように書いているかといいますと、縄文時代か弥生時

代か、人々の暮らしの様子というのを再現してあるのです。郷土史民俗資料館とかに行くと、昔の人の暮らしがジオラマみたいに再現されているものがよくありますよね。それが教科書の中に写真として載っているのですが、非常にステレオタイプの男女の役割が描かれているわけです。つまり、男は外に狩猟に行き、女は家でこういうことをする。ステレオタイプはまさにジェンダーと深くかかわっています。「男はこう」「女はこう」「男らしい」「女らしい」ということに関する私たちの考えです。

アニメに現れるヒロイン像 ～斉藤美奈子「紅一点論」を参考に～

現実社会のモデルとしての「男の子の国」「女の子の国」

	男の子の国	女の子の国
特徴	・英雄もの「ももたろう」 ・正義の追求・戦争	・お姫様もの「シンデレラ」・愛の追求・恋愛
舞台	未来	現在
ストーリー	・危機に瀕する地球の防衛 ・異質なものの排除 ・地球ナショナリズム ・秩序だった軍隊組織チーム ・変身＝武装	・大切な宝物を守るための戦い ・「王子様」との恋愛・子供の仲良しサークル ・変身＝メイクアップ／着替え
能力の源	科学技術	魔法
現実社会とのつながり	・チームは「会社」で戦争は「仕事」 ・秩序だった組織 ・絶対的な命令系統 ・近代科学や工業技術への信奉	・ファッションとの恋愛（及び結婚と家庭）が価値を持つ私的世界 ・異性愛への執着 ・王子様願望 ・夢と現実が錯綜

アニメの国のヒロイン像

	魔法少女	虹の戦士	悪の女王
生息地	女の子の国	男の子の国	敵国・悪の帝国
特徴	・子供（10～14歳） ・小中学生 ・愛らしい少女 ・お姫様／アイドル	・若い女性（18～20歳） ・補助労働要員 ・清純派の美女 ・お姫様／マドンナ	・大人（年齢不詳） ・トップまたは幹部 ・派手な化粧と衣装 ・魔女／悪魔の手下
有事の役割	良い魔法使い	通信士／看護婦	司令官／妖術使い
メッセージ	・「うちの娘」 ・父親からみた理想の娘 ・将来の夢は「お嫁さん」 ・女の子のお姫様願望を鼓舞 ・家族やペット（家来）によって安全にガード ・花嫁予備軍 ・「労働市場から閉め出された女」	・「職場の花」 ・上司から見たOL ・「男の子の国」が喜んで受け入れる女性 ・セクシーな若い美女 ・花嫁候補 ・家族の七光りで就職（身元に間違いのないお嬢さん） ・公の仕事は通信系（電話番号）だが、陰の仕事は雑用とお色気サービス ・多少の犠牲は我慢して紅一点の利点を楽しむ ・「補助労働と性的サービスが得意な会社の女」	・「大人の女」 ・出世したキャリアウーマン ・独身 ・男の手下を使うボス ・最後は必ず負ける ・「出世はしたが、役に立たない女上司」
男社会にとって	都合がいい女性	都合がいい女性	都合が悪い女性

斉藤美奈子「紅一点論」（ビレッジセンター出版局、1998年）より作成

ジェンダーバイアスをなくすいくつかの方法

三輪 午前のまとめですけれども、「授業の中でジェンダーバイアスをなくすためのいくつかの方法」があります。これはアメリカで出版された、性による差別のない教室を作るための本を参考に、私が少し加えた項目です。

- ①男女両方にリーダーになる機会を与える。今では女性の方が元気ですか、女性の方が先に手を挙げてくれますという学校もたくさんあると思います。ですから、これはもしかしたら今はもう当てはまらないかもしれませんが。
- ②教室で活動や作業をする際、男女が混じり、協力し合うようなグループ分けにする。小学校の1年に入った時から

ら男と女に分かれてしまいがちなので、意識的な働きかけも有効かと思います。

- ③性によるステレオタイプを助長する教材を避ける。もしそれが不可能であるなら、教材のステレオタイプを指摘する。「こう書いてあるけれども、確認された事実かどうかは分からないよ」と一言添えるだけでも、生徒にとっては大きな意味があるのではないかと思います。
- ④自分自身が性によるステレオタイプに基づいた生徒への期待をしていないか、そのような言葉や行動をとっていないか振り返る。これがまさしく隠れたカリキュラムと呼ばれるものの一つです。
- ⑤性によるステレオタイプの弊害や、両性の平等に関する事柄を指導に盛り込む。

- ⑥ 自国や世界の様々な女性の状況、生産への貢献等についての正確な情報を指導の中に盛り込む。これにより、私たちの社会を客観的に見ることができます。ずっとこの社会で育っていると、この社会が唯一普遍的なものであるかのように思ってしまうこともあると思いますけれど、そうではなくて色々な社会があるのだ、色々な可能性があるのでということに気づききっかけになると思います。
- ⑦ 当然男子がやると考えられる役割ができないように配慮する。
- ⑧ 名簿の男女順を男女混合に変えてみる。もうかなり多くの場所で実施されています。
- ⑨ 男子は青、女子は赤といった色分けを使わない。

以上の項目を挙げてみました。皆さん参考にして、活用していただければと思います。

<午後の部>

世界的な視野でジェンダーを考える

三輪 世界的な視野でジェンダーを考えるというワークショップでは、ジェンダーに関する主要指標と題した表(下記)を使っていきたいと思います。

ジェンダーに関する主要指標は、多くの場合①教育、②保健医療や生存にかかわる指標、③経済参加、④政治

参加の4つの分野に考えて理解されることが多いです。実は、とてもデータが取りにくい重要な分野が一つ欠けています。ここ 10 年ぐらい非常に重視されるようになってきた「女性に対する暴力」です。この 10 年の間に、ジェンダーに関連した最大の問題の1つとして理解されるようになってきています。想像していただけたと思いますが、データが非常に取りにくい分野でもあります。その分野のデータが欠けているということは、心にとめておいてもらいたいと思います。

1 データから読み取れるもの

三輪 この表から背景の要因までを導き出すことは無理なのですけれども、データからどんなことが分かったか、出していただけますか。

参加者A 日本の女性は教育レベルが高く、寿命も長いのは素晴らしいが、経済と政治ではフィリピンやタンザニア並みで、管理職はタンザニアよりも少ないのではないですか。なぜ日本だけが劣っているのか不思議です。

三輪 ありがとうございます。一番重要なまとめを全部言っておきました。この表から一番如実に出てくるところと思います。①教育、②保健医療や製造に関する指標、日本はまさしくこの中で先進国の一員といえる数字を達成していますが、③経済参加と④政治参加の分野で見ると、全

ジェンダーに関する主要指標

	先進国	開発途上国	後発開発途上国	日本	フィリピン	ザンビア
成人識字率 (%)						
女性	—	69.6	44.6	—	92.7	59.7
男性	—	82.9	63.7	—	92.5	76.1
総就学率 (%)						
女性	93	55	32	83	83	45
男性	90	64	43	85	80	50
平均余命 (歳)						
女性	80.9	66.1	52.6	85.4	72.5	36.9
男性	74.5	63.0	50.8	78.4	68.3	37.9
妊産婦死亡率 ※	13	491	1,041	18	280	940
乳児死亡率 ※	6	64	104	4	32	112
合計特種出生率	1.6	3.0	5.0	1.4	3.6	5.6
男性労働力率に対する女性労働力率の比率 (%)	74	67	74	67.3	66.9	80.0
推定所得 (購買力平価US\$)						
女性	—	—	—	17,795	3,213	629
男性	—	—	—	38,612	5,409	1,130
女性管理職比率	—	—	—	10	58	—
女性議員比率 (%)	—	—	—	9.3	15.4	12.7
女性閣僚比率 (%)	—	—	—	12.5	25.0	25.0

出典：国連開発計画、人間開発報告書1999、2005（先進国等の分類は同報告書による）

※妊産婦死亡率：1年間に妊娠に関連した原因で死亡した女性数（出生10万件あたり）

※乳児死亡率：1歳未満児の年間死亡数（出産1000人あたり）

然大きなことが言えない。特に女性閣僚比率や女性議員比率になると開発途上国の中から1国を選んだフィリピン、後発開発途上国から1国選んだザンビアに比べても少ない数字が出てきます。女性管理職比率もフィリピンには大きく遅れを取っていて、女性が意思決定できる立場には就いていないというのが分かります。

男性労働力率に対する女性労働力率の比率を見ていただくと、日本はフィリピンと比べて低いわけではないですよ。男性を100とした時に、その中の67.3に当たる人数が女性労働力として参加しているということなのですが、そこでの参加の仕方が意思決定の段階でいう低いレベルにとどまっているケースが非常に多いことが、ここから見てとれると思います。

参加者 フィリピンは成人識字率も総就学率も高いと思うけれども、開発途上国の平均と比べたら②保健医療の部分で平均的な開発途上国の数値よりも高くなっています。

三輪 女性管理職比率は、開発途上国平均というのが出てきていませんけれども、58%というのはすごく高い数字だと思います。それは高い教育レベルが影響していると思いますね。

2 平均余命

参加者A 疑問なのですが、ザンビアは男性労働力率に対する女性労働力の比率が高いですよ。でも、平均余命は短く、乳児死亡率が高く、総就学率は男女の差はそんなにないのですけれども、ちょっと国の様子がこの数字から見えにくいというか、これはHIVの関係で余命が低いのかな、というのが出ていました。

三輪 ザンビアの平均余命は特筆すべきで女性の方が短いのです。それが非常に大きな特徴で、これまでは南アジアでしか見られない現象です。先進国の平均余命を見ていただくと、女性が80.9歳、男性74.5歳ですよ。保健医療のサービスが受けられて同じ扱いを受けた場合、男女の平均余命にはこれくらいの差が生まれると考えられています。女性は生物的に妊娠、出産に耐えられるように体ができているということで、平均余命には差ができるというのが通常のパターンです。人口の比率もこの社会は男女半々ではなくて、女性が51%、男性49%ぐらいになるのです。市町村の広報紙などを見ていただくと、人口が載っていると思いますが、女性の方が少し多くなっているはずですよ。

平均余命に関する大きな特徴として、先進国、開発途上国、後発開発途上国にいくに従って差が縮まっています。

先進国の6歳の差が開発途上国の平均になると3歳ぐらいになっています。それが、後発開発途上国になるとおよそ1.5歳に縮まってきています。これは妊産婦死亡率が高いことが非常に影響していると思います。もとの栄養状態の悪さに加わって、妊産婦死亡率、繰り返し妊娠、出産をすることによって女性の体が疲弊していく。女性が命を落とすということです。そのことが平均余命を低く押し下げて、結果的に男女間の差を少なくする現象につながっています。

東南アジア、ネパール、インド、バングラデシュあたりは、少し前までは女性の平均余命が男性を下回っていました。妊産婦死亡率にもう一つ加わって、女性を望まない社会の傾向が女性に対してネガティブに働くからです。つまり、乳児死亡率を男女別にとってみると、女性の方が明らかに高かったりします。農村部などで予防接種を子どもに受けさせるのも1日仕事である、あるいは病気が悪化した時にお医者さんに診せに行くのも1日仕事である、しかもお金がかかる。そういう場合、男女間で異なる扱いを受けるという状況が今でもあります。結果的に女の子の死亡数が男性を上回る。最終的に平均余命の男女間の差が縮まり、そして女性が男性を下回るという、そういう状況になって表れてくるわけです。

これまでは南アジアだけに特有な現象と言われていたのですが、最近これがアフリカで起こっている。それはHIVエイズの影響が大きいと思われます。HIVエイズは身体的な特性から、女性の方により感染が起こりやすい特徴があり、女性の感染率が高くなりがちです。特に若年層の女性の感染率が高くなりがちです。それが、女性の平均余命を押し下げる結果につながっていると思われます。

10年前にマラウイに行った時にびっくりして、にわかには信じられなかったのですけれども、ある年の妊婦のHIVエイズ感染率が約30%になっていました。母子感染を防ぐ方法はあるのですが、恐らく、そういう方法が取れない場所で妊娠、出産している女性がほとんどだと思います。こういう場所で出産が行われて、子どもも母子感染が起これば、その社会が抱える大きな負担というのは想像できないものがあると思います。平均余命に関しては、開発途上国、後発開発途上国にいくに従って男女間の差が少なくなっていく。そして、ザンビアのように女性が男性を下回っている国もあるのです。

3 成人識字率

三輪 成人識字率で見ると、まず先進国は出ていません。

問題ではなくなっているからです。ユネスコのイヤーブックで調べると、日本は男女とも 99 ぐらいの数で私が今回引用したこの人間開発報告書では、先進国については成人識字率は出てきていませんでした。

開発途上国、後発開発途上国にいくに従って、教育レ



ベル、教育の普及率はどんどん少なくなっている、しかも男女間の格差もどんどん大きくなっているということが見てとっていただけます。ザンビアを見ても、約 17 ポイントの差があります。後発開発途上国平均でしたら、20 ポイント近く差がついています。教育全体が普及していないということも言えるのですが、プラス女の子が学校に行く機会がどんどん少なくなっていることが言えます。

女の子が教育を受けることの重要性が理解されていないのです。小学校に入る時点から女の子は読み書き・算数を覚えても、結婚したら役に立たないと思われる。親が教育を受けた経験がない場合、非常に簡単にこういう考え方に陥ってしまいがちです。子ども全員に教育を受けさせる余裕がないとなった場合には、女の子は真っ先に切り捨てられてしまいますし、家の仕事の手伝いをさせられるか、弟か妹の世話をさせられることになります。

もう一つ教育の分野でジェンダー関連で問題とされているのは、小学校の高学年ぐらいになると、女の子もプライバシーが気になります。学校にトイレがない場合は、学校に行くのを嫌がる、あるいは近くに学校がない場合、学校の行き帰りで性暴力の被害に遭うことも、親が子どもを学校に送ることをためらう理由の一つになっています。

去年から日本では小学校の低学年の女の子が性暴力の被害に遭って命を落とすような事件が続いていますので、学校の行き帰りの安全は、あながち他の国の問題とも言えないという事情も迫ってきます。女性に対する暴力の問題とも深く絡んでいる問題だと思います。

4 議院比率

三輪 女性議員比率がどうしてこんなに日本は違うのだろうと思われませんか。今、世界でもっとも女性議員比率が高い国はどこかご存じですか。少し前まではスウェーデンで今でも上位国です。北欧だと思われませんが実は違います。北欧は全部上位に占めているのですけれども、今、1位の国は北欧ではなくてアフリカのルワンダです。どうしてこれが実現したかということには、クォータ制(割当制)と言われる制度を採用したということが大きく作用しています。

このクォータ制の採用について、民主主義をどう考えるか、ということとも深く絡んでいます。日本は実現していません。クォータ制に関して反発が強いです。女性、男性にかかわらず能力のある人がやるべきだ、という議論がネット上でも大勢を占めています。民主主義をどう実現するかは面白い議論があって、アメリカのある学者は、「子どもの代表も議会に送り込むべきだ」と、子どもが代表になるのか子どもの意見を代弁した人が代表になるのか、そこは色々な議論があるようですが、その社会を構成する人が平等に政治の場に参加することが本当のあるべき民主主義だという考え方もあるのです。

飛びましたが、どうして日本で女性議員比率が低いのかという背景の一つには、日本の選挙制度が女性の議員には非常に不利だということが原因の一つとして挙げられています。選挙制度と政党の考え方です。クォータ制に対して政党も及び腰です。比例代表の時に、男女同数出さないといけないと決めている国もあります。男女が同数存在する社会だから、女性の声も反映されるように、比例代表の名簿を男女同じ割合にする国もありますし、または、どちらかの性の割合が 40%を超えないと決めている国もあります。

今、日本は小選挙区制です。これが、女性に非常に不利に働いているという意見は根強いです。つまり、1つの選挙区から1人しか当選しない。小選挙区制というと分かりにくいのですが、英語でいうと「Winner take all」と呼ばれていて分かりやすい。どんな少数意見も全部1人の最大得票者に飲み込まれてしまう。女性を含めた少数者の意見が政治に反映されるためには、非常に不利な制度だと言われています。これが絡み合って、低い女性議員比率になっているようです。このあたりはどういう選挙制度、どういう候補者選びが民主主義にふさわしいのかと深く絡んでいるのですが、制度的に日本の今のシステムは少数者、女性は少数者ではないのですが、声としての少数者を政治の場に送り届けるには、不利な部分が多いということは

事実です。

でも、どうでしょうか。年金の議論を見ても社会を構成する人の意見がもう少し公正に反映されてもいいのではないのでしょうか。勉強するにつれ、クォータ制とか、少数者、なかなか声が届かない人の声を届けるような政治的な仕組みは必要ではないかなと思います。

参加者B 三輪さんが言われるように、もう少し具体的な提案をしますと、自由な選挙制度ではなくて、割り当てる、10%なのか 40%なのか 35%なのか、それは分かりませんが、一定の数は女性議員が必要であるということで、その認識から女性候補しか当選しない枠がこれだけある制度を作る必要があるのです。いろいろな層の人が出ていろいろな人がきちんと意見を言って、初めて民意が反映されるわけで、一握りの人、ましてや2世、3世議員ばかりがおる社会では、本当に片寄った国会議論になります。

5 ジェンダーエンパワメント指数

参加者C 推定所得ですけれども、日本は女性の所得が50%を割っているのです。管理職が少ないからで上までいけないのです。公務員でさえ、部長級はほとんどいない。入る時は2割ぐらいおられてもせいぜい課長でそれ以上はいけなようなシステムがまだあるのです。民間だったら、女子は8割程は派遣かパートで、ひどい使い方です。だから能力は変わりなくても50%以下になるのです。

三輪 「GEM:ジェンダーエンパワメント指数」と呼ばれる国連が出している指標があります。これは政治参加、経済参加、つまり女性が社会で意思決定に参加できているか、ということに重きを置いて国際比較をした指標です。これでは日本は43番目にランクされています。日本は教育を受けられる、安心して保健医療を受けられる、ある程度ちゃんと生計が立てられるような経済生活を表す男女を合わせた指標「HDI:人間開発指数」では11位にランクされているのですが、GEM:ジェンダーエンパワメント指数、つまり、女性がどれだけ社会で参加できているか、それも意思決定に参画できているかということを考え合わせて指標を作ると、43位に落ちてしまいます。前後の国を見ていただくと、タンザニア、ハンガリー、ドミニカ共和国、フィリピンということで経済的には日本とは大きな違いがある国々が並んでいます。これが日本という国の特徴です。豊かさはある程度あるけれど、男女間の意思決定レベルに参加できるかどうかの格差は非常に大きいというのは、この指標からはっきりと見てもらえると思います。

グローバル化の中で起こっている大きな影響は、男性の

雇用も非常に不安定化してきているということです。女性の賃金の低さに取り組んでこられた弁護士や女性の中では、最近この問題は非常に扱いにくくなっている。男性も今すごく大変だ、男性の雇用も非常に不安定化しているので、女性だけの問題ではないと言われる。パートならまだ雇用関係がはっきりしていたのですが、最近派遣という形になっています。すると、今働いている会社との関係ではなく、派遣会社との関係が間に入るので、労働条件の改善の申し立ての仕方以前よりも複雑になっていることで、懸念されている材料の一つです。

ただ、女性に対する暴力の分野でグローバル化というのは、女性にとって追い風、プラスの影響になっています。つまり、女性に対する暴力の大きな特徴は、文化や宗教の社会的な地位とか経済的な地位とかに関係なく普遍的に見られるということで、そのことから途上国と呼ばれる国であれ、先進国と呼ばれる国であれ、垣根を乗り越えて、女性同士が協力するという動きが強くなっています。日本のDV防止法、ストーカー規制法、そういうのも近隣諸国の法規制の動向、具体的には韓国などに影響されてきた部分が大きいです。グローバル化、情報の共有や交換が簡単にできるようになり女性の地位にプラスの影響を与えている部分は確かにあります。

この指標をきっかけに、どうしてこの国では議員さんの割合が高いのだろう、なぜ日本は低いのだろう、といった話をつなげてもらえればうれしいと思います。

ちがいのちがい

三輪 下記の「ちがいのちがいー男女の平等編」には①から⑮までいろいろな「ちがい」が提示されています。皆さんには、この「ちがい」を読んでいただいて、納得できる「ちがい」か、納得できない「ちがい」か、判断が難しい「ちがい」かどうか、を考えていただいて、その後、グループで意見を出し合っていたきたいと思います。正解、不正解があるワークショップではありませんので、いろいろな意見が出てくればと思います。

ちがいのちがいー男女の平等編ー

①「おかあさんといっしょ」というテレビ番組はあるが、「おとうさんといっしょ」という番組はない。
②学校の保護者会やPTA。行事の準備に忙しく立ち働いているのは母親だが、挨拶になると会長の男性が出てくる。
③先生は、男の子は〇〇くんと呼び、女の子は〇〇さんと呼ぶ。
④まつしま夫婦は、両親とも働きながら子どもを育てている。たかしさんは、「よくやっておられますね〜」と近所の人に声をかけられる。ななこさんは言われない。
⑤じゅんいちろうは本を読んだり家事の手伝いをするのが好き、こうたろうは野原を駆け回って泥だらけになるまで遊ぶのが好きな子だ。
⑥結婚すると、9割以上の夫婦は夫の姓を名乗る。妻の姓を名乗る夫婦は少数である。
⑦元旦は夫(父親)の実家に新年の挨拶に行き、2日から3日に妻(母親)の実家に新年の挨拶に行く。
⑧幼稚園で着るスモック、女の子はピンク、男の子はブルーと決められている。
⑨おもちゃが壊れたので、悲しくて泣いていると、親に「男の子がいつまで泣いてんの」と言われた。姉はそんなことは言われない。
⑩両親は、弟が何時に帰ってきても文句を言わないが、姉である私には門限を守るように厳しく言う。
⑪高校の進路別クラスでは、文系は女子、理系は男子が圧倒的に多かった。
⑫高校のマラソン大会、女子は6キロ、男子は9キロのコースを走る。
⑬20歳で交通事故死した女性と男性。裁判所が決定した賠償請求額は同い年の2人なのに300万円近い開きがあった。
⑭男子には自分で決断を下し、一人でやり抜く能力が重要だと思う。女子は他人への思いやりがあって皆

で協力して物事を進められる人になって欲しい。

⑮課長のいちろうさんは男性の部下が失敗したときは厳しく叱るが、女性の部下が失敗したときは厳しく言わない。

1 男の子は「くん」、女の子は「さん」

三輪 こんな意見が出てきた、意見が分かれた、あるいは意見は分かれなかったけれどもどうなのだろう、というような違いがありましたら出していただけますか。

参加者A ③で一番悩んでいます。私は大人の方は男性、女性にかかわらず職場における部下、上司も含めて全部「さん」付けにしています。私自身が「くん」と呼ばれると、もう虫ずが走るほど嫌だから、いわゆる大人に対しては全部「さん」です。ただ、子どもの世界、幼稚園で男性の園長先生が「さん」と男の子を呼びづらいな、という気持ちがあります。私は統一した方がいいと思います。「さん」なら「さん」、「くん」なら「くん」、女性でも女の子も全部「くん」それでいいと思いますが、どちらがいいのかは悩んでいます。どちらかというと子どもに関しては全部「くん」にしています。

参加者B 普段は「さん」、しかる時は呼び捨てにしています。

参加者C 本校では、男の子も女の子も全部「さん」付けです。

三輪 一般的には「そんなことまで言う必要があるの」という反応も返ってきます。「そんなことが男女平等に関係するのか」と。でも、これは関係しますね。呼び方は「くん」というと、大人の世界だと上下関係を表す呼び方にもつながりますけれども、子どもの世界だと多くの場合は「くん」は男の子に対する呼び方で、「さん」は女の子に対する呼び方になっていますよね。

これは小学校でそれまでは「くん」「さん」と呼ばれていた子どもたちに、3年生からいきなり「さん」と呼び始めた京都市の先生から聞いたのですが、男の子はずっと「くん」と呼ばれていたのが、最初「えー、先生、やめてそんな。気持ち悪い」と言う。だけでも先生はそれで呼び続けられた。そうすると、先生自身が今まで気づかなかったことに気づかれたということです。

男とか女とか分けて考えないという意識でいながら、「くん・さん」とそれまで一般的に呼びならわされていた方法で呼んでおられたそうなのですが、改めてみんな「さん」と呼び始めたことで、実は「くん」と呼ぶ時は男の子の〇〇くん、「さん」と呼ぶ時には女の子の〇〇さんということが無意識のうちに自分の頭の中にあっただけということ、全

まで、まだ確定していません。逸失利益という考え方です。「20歳で死亡した人たちが生きていれば、生涯に獲得した賃金」というので求められるわけですが、これは平均で出てきているわけです。男女の平等ということで考えると本当はおかしいと私は思います。平均は確かに違っても、Aさんという男性とBさんという女性が絶対にこちらの方が賃金が高いとは限りませんよね。男女の平等という観点からいえば、この⑬はおかしいと思います。

司法判断は2つの違った判断が出ている状況です。その流れが後退せずに、判例として定着していけばいいと思います。

5 女性の部下が失敗したとき

三輪 あとは⑮はどうですか。

参加者 私はこういうことをされると、すごく腹が立つ方です。私も高校の教師なのですが、会社において自分が失敗して何も言われなかったら、もういらない人材なんかと。「辞めていくから何も教えてもらえないまま辞めていけ」と言われている感じがします。やはり、働いていくにあたってはやってはいけないこととか、改善していかなければいけないことは、しっかり指導してもらったりしかってもらったりしないと。

三輪 実際にはこういうことは、特に企業では慣例として今でも残っています。男性の方も女性にはしかりにくいということがあります。「すぐ泣かれる」とかですね。労働組合の連合大阪のトップの女性の方でしたけれども、女性の組合員のリーダー研修でげきを飛ばされていたのです。そのげきの内容というのが、「あなたたちの年だったら男性はあなたたちの3倍は失敗している。失敗の機会が与えられて、そこから学ぶ機会が男性には与えられているけれども、あなたたちには、残念ながらそれが欠けている。だからそれも理解しながら頑張らなさい」というような激しいげきだったのです。「任されない」ということです。失敗した時に怒られないだけではなくて、「任されにくい」という現状があるので、このあたりは女性の社会進出、能力の発揮を妨げる一つのジェンダーの表れだと思います。男・女で判断せずにまず一人の人間として見てほしいということです。

私は最初の企業経験で一番痛切に感じたところがそこです。男・女で見てほしくなかったことです。一人の人間として見て仕事を任される、任されない、だったらいいのですが、その当時の職場では、やはり最初に男・女という分け方がされていて、その中でやらされる仕事・期待される役割、それから到達度ですね。どこまで頑張ってほしいか

というのが完全に分けられていたので、それが私が最初に切実にジェンダーを感じたきっかけでした。だから、社会の中で男・女で分けずに一人の人間として見てほしいというのが私自身の経験からも重要なことだと思います。

6 兄妹で違う門限

三輪 ⑩はどうですか。これも難しいのです。先程出した女性に対する暴力と絡んでいるので、このあたりはすごく戦略的な説明も求められるかと思います。男女で門限が違うのは、そのきょうだいにとっては全然楽しいことではないですね。何でお兄ちゃんだけ、何で弟だけ、何で私は女だから、ということなのですが、それだけではすまされない現実の問題もあります。女性に対する暴力の存在というのを考えると、全く同じにしていけないとはなかなか言いにくいところがある。最近では特に小さい子だと男女かわらず性暴力の対象になることもあります。大人の女性への性暴力の存在というのは否定できないことですので、注意深い説明が必要かと思います。

参加者 子どもは絶対に守ってやらなければいけませんけれども、女の人は今は時たま夜中にコンビニに行ったりします。IT関係の仕事などは夜中に帰っているのですよ。門限などという言葉自身が私は今の時代には通用しないと思います。大学から家を出ている女性もたくさんいます。企業が今までは女子は自宅から通っている人を採用すると言っていましたけれども、時代の変化と共に吹っ飛んでしまうのではないのでしょうか。

まだDVはありますよ、被害は非常に問題だけれども、それは家庭の中で逃げられなくて夫とか親しい関係の男性とかに女が肉体的に弱いからやられるでしょう。それがもしも経済的に自立した者同士だったら、私はそんなことがあったら女の方は逃げると思うし、逃げられるけれど逃げられないのは経済力がない場合が多いのだと思います。殴られても我慢している。捨てられたら困るとか。だから、私は「門限」というのは今の時代の言葉にはふさわしくないように思います。

三輪 そうですね。ですけど、10代、20代のお子様をお持ちのご家庭だと、どうでしょうか。門限の問題は結構身近に経験されたことないですか。やはり、夜道の危険というのは、男女は同じように仕事をするように求められるようになって、女性の暴力はそのままであるというのも、女性にとっては危険だけが増しているという気がしないでもないです。働くのは同等に働けるようになる。同等に期待されるようになるのはいいことかもしれないですが、それが非常に

を大切にする第1歩につながるのではないかと思います。本当はしんどくてもその時には「今は楽しいし、私」と思っている部分があるかと思っています。だけれども、今しんどくないとしても、そのジェンダーの役がしんどい人がいることには気づこうというメッセージは送れるのではないかと思います。他人をジェンダーの枠にはめ込まずに1人の人間として接してみようということです。男・女である前にみんな1人の人間であるというメッセージ。そういう理解を持つことによって、1人ひとりが周りの人と自由に柔軟な環境を気づいていけるようになる。このことが「ジェンダー理解」からの一人ひとりの関係の一番重要な部分ではないかと思っています。

基本のメッセージは「男なのに」「女なのに」とか「女だったら」「男だったら」とそういう言い方や考え方はやめませんか、ということです。乱暴な言葉遣いとかについて質問を受けることがあります。「女がそういうしゃべり方をし」とか、かなり強い反発を受けていることがよくあります。「乱暴な言葉遣いは乱暴な言葉遣いそれだけで、周りの人を不快にするものなのだよ」と言えばメッセージは伝わると思います。言葉も例えば、自分を指す、「僕、私、おれ、わし」も時代によってどんどん変化してきて、これ自体もセックスと対応しているというよりは、ジェンダーと対応した言葉のようです。ジェンダーが反映した言葉も多いので、固定的に考えないで、「男だから」「女だから」という言い方をせずに、「そんな言い方は周りの人がそんなに気持ち良くないのじゃない」という言い方で十分なのではないかなと思います。

学校でジェンダーをどう扱うか

- 1) 家庭、学校、メディアから刷り込まれているジェンダーの存在に気づく。
- 2) その枠に自分をはめ込んでいないか。自分を枠にはめることがしんどくないか、考えてみる。
- 3) しんどいなら、「自由になれる、自由になっていい」というメッセージを送る。
- 4) そのようにして、自分をふりかえってみることが、自分を大切にする第1歩につながる。
- 5) しんどくないとしても、ジェンダーの枠がしんどい人がいることには気づこう。
- 6) 他人をジェンダーの枠にはめ込まずに、一人の人間として接してみよう。男、女である前に、皆、一人の人間。
- 7) そうして、一人一人が周りの人と自由に柔軟な関係を築いていけるようになりたい。

基本のメッセージ

「女なのに」「男なのに」「女だったら」「男だったら」「女だから」「男だから」って、言ったり、考えたりするのはやめてみよう！

いくつかの気になる動向

1 ジェンダーバッシング

三輪 いくつかの気になる動向です。ジェンダーフリーバッシングの人たちが使っている「ジェンダーフリー」という用語の理解は、非常に歪曲したものです。ジェンダーフリーという概念を浸透させようとした人たちが言っていることは、かなり違うことを意味して、攻撃している（バックラッシュ）という事実があります。

どう間違っているかというと、「ジェンダーフリー」を言う人たちは、「ジェンダーという枠から自由になる」意味で「ジェンダーフリー」という言葉を使っています。ジェンダーの枠に自分をはめ込まない。男、女ということで自分を枠にはめない。そういうことが「ジェンダーフリー」なんです、それを攻撃している人たちは、「彼らは、結婚とか家族の価値を認めない。これは社会文化の破壊である」という批判の仕方をされています。

結婚とか家族の価値を認める、認めないと「ジェンダーフリー」は全く関係がありません。いろいろな家族があってもいいのではないかと、いろいろの結婚の形態があってもいいのではないかと、というのはその中に含まれていますが、家族や結婚の価値は認めないというのは全くないのにもかかわらず、一部の有力政治家が頑張っていって心配なのです。そういう有力な政治家が旗を振っていることで勢いを持ててしまいました。これまで積み重ねられてきた動きも少し後退を余儀なくされています。政府が作っている文書の中にも「ジェンダーフリー」の間違った理解、「ジェンダーフリー」の誤解をそのまま定着させるのではないかとこのところがあって、気になります。

「バックラッシュ」というのは日本だけの現象ではないということも付け加えておきたいと思います。イギリスでもありました。アメリカでも今非常に勢力を増しています。ジェンダーという言葉が昨年ぐらいから使えなくなったとかいう学校現場もあるかもしれませんが、ジェンダーという言葉を使わなくても男女平等教育はできますので、しばらくはちょっと戦略的な対応も迫られるかもしれません。そんなことで後退させずにちゃんと正しい理解で前に進んでもらいたいと思います。

そして、現実はまだ流れは止められないという気持ちもしています。私が接している若い人たちを見ていると、現実

の男女平等の流れは止められないのではないかという気はしています。ですから、学校現場の方へのメッセージとしては、「ジェンダーフリー」、あるいは「ジェンダー」という言葉に逆風が吹いているところがあるかもしれませんが、それを使わなくても男女平等教育はできます、と強調しておきます。

2 性差の科学

三輪 「性差の科学」です。約1年前の日経夕刊に茂木健一郎さんが書かれている記事で、「男と女の脳に差はあるか」があります。一番重要なところを読みますと「男と女の脳には差があるのか」脳の話をするときしばしばこの質問が出る—そんな時私は「差はないと思って生きていても何の不都合もありません」と答えることにしている。左右の脳皮質をつなぐ脳量の太さなど、男女の脳には確かに差はある。しかし、だからといって能力や適正に差があると断言できるほど脳は単純ではない。そう簡単に性差など分らないのである—ということです。〈中略〉

脳はまこと複雑な臓器であり、能力の優劣を安易に決めつけることはできない。極端な場合、欠点や長所になることさえある。欠点を補おうとして回り道をするのでかえって常人が思いつかないような独創的な発想が生まれることもあるのである。面白おかしく男女の脳の差をはやし立てるのを目にするが、安易な決めつけに科学的根拠などない。脳の中に潜んでいる可能性の大きさを考えると、米長邦雄さんを見習って、男も女も同じだと断言する方が科学的にも倫理的にも正しい態度なのである—、将棋の米長邦雄さんの言葉も引用しながら書かれています。

やはり、脳科学者の人がこうに書いて下さることは、すごく大きな意味があると思うので、これには励まされたというか、逆に安易な決めつけ、恐らく先ほどの「地図が読めない女・・・」のような本も、かなり飛躍した考えがあると思うのです。最初は科学的な装いを呈しているかもしれませんが、そのあたりの三段跳びで飛ばされている部分には非常に注意していただきたいと思います。

3 24条改正

三輪 24条改正については、どれだけ日程にあがってくるのか分かりませんが、男女の平等を定めた24条も現実に即して変えようという動きが現実にあります。「憲法」という「constitution」を訳すと司馬遼太郎さんが使われている「この国の形」というのが一番いいのだという話を政治学者から聞いたことがあります。この国の形のあるべき姿を示し

ているような憲法なのですが、その理想形である憲法を現実に即して男女は今平等ではないのだから、そう変えてしまおうという議論が出ていて、とても気になります。

これは、今そんなに話題にはなっていませんけれども、もし、本当に起こったら、日本は世界でも類を見ないすごい国になってしまいます。人種差別、カースト差別、憲法の中では否定されて、そこに向かって努力をしている、例えばインドや他の国の今の姿ですね。それが、現実に即して憲法を男女平等条項を変えてしまおうというのは、本当に信じられないような暴論なので非常に心配なところです。また、皆さんもぜひこの動きには気をつけておいてもらいたいと思います。

いくつかの気になる動向

三輪 「学校でジェンダーをどう扱うか」という部分です。その際に色々な材料があって、国際的なジェンダーの取り組みの進展から学ぶ、他の国の状況から学ぶ、というのも一つの材料だと思いますし、また、今日やっていただきましたワークショップなども参考にさせていただいて、いろいろな場所で取り組みをしていただけたらと思います。

振り返りの時間も持ちたいです。質問とか、あるいは今日の10時から4時までのこの時間で、こんなことが面白かったとか、こんなことに改めて気がついたとか、あるいはこれがよく分からない、まだ何かすっきりしないのだというようなこと、どんなことでも結構ですので、出していただきたいと



思います。

参加者 今日は色々なお話を伺ってとても興味深かったです。私の家族のことですが、役割分担で長男の兄が奥さんの仕事の方が高給なので、主夫をしている。3人の子供を育てて地域への貢献もしたいから少年野球のコーチをやったり、PTA会長とかしていて私はすごく尊敬しているのですが、今日、いらっしやっている学校関係者の方で、もちろん、こういうセミナーに来ている方なので、ジェン

ダーのことについてすごく考えられていて、お父さんの職業とかお母さんの職業とかそういうことに注意を払って作文を書かせたり…。配慮はされていると思うのですが、今日のセミナーを振り返られて、また、いろいろな役割がある家庭があるということを考え直していただけたら、すごくありがたいと思います。

参加者 今日は、皆さんいろいろと楽しいお話を聞かせていただきました。今日の教材の中で一つ教育現場におけるジェンダーということで、いくつか例をいただいたのですが、その中でやはり学校の教室の中でのジェンダーというのは、少し前と変わってきているのかなというような気がしました。より男女平等というものに近づいてきているのかなと、私が小・中・高だった時よりは変わっているのかなという気がしました。

それに対して、「男の子女の子をどんな子に育てたいですか」というアンケートの結果ですが、あれを見たところ、まだ家庭の中では女の子はこう育てたい、男の子はこう育てたいというのが非常にはっきりと出ていたので、子どもたち自身がどこかでそのギャップで成長していった時に、私自身もその経験はあるのですが、社会人になった時に、あるいは何かの拍子に「あれ」と思うことがいずれ出てくるのではないかと。学校ではジェンダーフリーとか男女平等という形で教えられる、あるいは環境が整えられる。片や家庭では、女の子はこういうふうにと。男の子はこういうふうにと。いうメッセージが暗に込められた生活を送っている。その対照が見えたような気がして面白かったというか、これからどうなっていくかな、と思っています。

三輪 ありがとうございます。学校の懇談会のような場があると思うのです。授業参観の後に授業参観に来た保護者と一緒に持つ会議だったりする場があると思うのですけれども、その場でいろいろなトピックで先生がお話しされている機会があると思うのです。そういうところでもぜひ、こういうジェンダーの問題も取り扱って下さる先生が増えていけばいいなと思っています。

「ちがいのちがい」のところで触れなかったのですが、例えば⑤のじゅんいちろうとこうたろうの違いですね。これは恐らく丸にされた方が多いと思うのですけれども、でも実際に見ていると、こうたろうみたいな男の子を持っている親御さんは、何の問題も感じられないのですけれども、じゅんいちろうみたいな子どもがいる親御さんは結構

色々考えられている場合があります。身近な例でも本当に幼稚園から小学校の子どもがいる人でも家事の手伝いとか、いわゆる「おままとごっこ」みたいなのが好きな男の子だと、必要以上に心配されていることに気がつくことがあります。



午前にも出ていましたけれども、男性に対する縛りは今でもきついんじゃないかということです。むしろ、女性に対しては親も学校もいろいろな可能性がある。「何になってもいいよ」というふうにメッセージを送るケースが増えてきているかと思いますが、むしろ、男性に対しては以前と変わらないメッセージ、ジェンダーの枠にかなり影響された男は元気で活発で外で遊んで、たくましく、そして勉強もそこそこの年になったら頑張って大学まで行ってみたいな期待が男性の方に強く働いているのではないのかと気になることがあります。ジェンダーというのは男女両方にとってすごく大きな問題だと思います。

皆さんの現場で何か実践をされた報告とかありましたら、聞かせていただけるのを楽しみにしています。今日は本当にお疲れさまでした。

滋賀県国際協会からの派遣ワークショップ

◆ (社) ガールスカウト日本連盟滋賀県支部 国際理解学習会

実施日：平成 18 年 6 月 25 日 (日)

場 所：コラボ しが 21

対 象：高校生以上のリーダー

内 容：ワークショップ (カルタ)

◆ 滋賀県教員 10 年経験者研修 国際理解教育 (講義・演習)

実施日：平成 18 年 6 月 27 日 (火)

場 所：滋賀県総合教育センター

対 象：10 年経験の小学校・中学校・高校教員

内 容：ワークショップ (カルタ／ひょうたん島問題)

◆ 東近江市 人権のまちづくり講座 「地域でつくろう 多文化共生社会」

実施日：平成 18 年 7 月 1 日 (土)

場 所：てんびんの里文化学習センター

対 象：市民

内 容：ワークショップ (ブラジルボックス／カルタ)

◆ 東近江市教育研究所 教職員研修事業 人権学習講座

「文化・価値観の相違を認め合う国際理解教育のススメ」

実施日：平成 18 年 7 月 28 日 (日)

場 所：東近江市やわらぎホール

対 象：幼稚園・小中学校教職員

内 容：ワークショップ (カルタ)

◆ 京都府亀岡市立詳徳中学校夏季教職員研修 「多文化共生について考える」

実施日：平成 18 年 8 月 21 日 (月)

場 所：京都府亀岡市立詳徳中学校

対 象：中学校教職員

内 容：ワークショップ (レヌカの学び／カルタ)

◆ 滋賀県教員初任者研修 国際理解教育 (講義・演習)

実施日：平成 18 年 8 月 22 日 (火)

場 所：希望ヶ丘文化公園 青年の城

対 象：小学校・中学校・高校・障害児学校・養護学校・幼稚園の教職初任者

内 容：ワークショップ (地球がもし 100 人の村だったら／ブラジルボックス)

◆ 仰木中学校 国際理解学習・人権学習 「世界の貧富差と原因」

実施日：平成 18 年 11 月 13 日 (月)

場 所：大津市立仰木中学校

対 象：中学 3 年生

内 容：ワークショップ (貿易ゲーム)

◆ 竜王町立竜王西幼稚園 PTA PTA 人権学習会

実施日：平成 19 年 1 月 18 日（木）

場 所：竜王町立竜王西幼稚園

対 象：幼稚園 PTA

内 容：ワークショップ（地球がもし 100 人の村だったら）

◆ 草津市立矢倉小学校 PTA 人権研修会

実施日：平成 19 年 2 月 7 日（水）

場 所：草津市立矢倉小学校

対 象：PTA 役員・教職員

内 容：ワークショップ（地球がもし 100 人の村だったら）

◆ 近江八幡市立金田小学校

実施日：平成 19 年 2 月 7 日（水）

場 所：草津市立矢倉小学校

対 象：小学 6 年生

内 容：ワークショップ（地球がもし 100 人の村だったら）

◆ 野洲市立北野小学校 ひびきあい活動

実施日：平成 19 年 3 月 6 日（火）

場 所：野洲市立北野小学校

対 象：小学 6 年生・保護者

内 容：ワークショップ（地球がもし 100 人の村だったら）

◆ 甲賀市立大野小学校 ワールドキャラバン

実施日：平成 19 年 3 月 6 日（火）

場 所：甲賀市立大野小学校

対 象：小学 4～6 年生

内 容：フォトランゲージ（地球の食卓）



滋賀県教員 10 年経験者研修

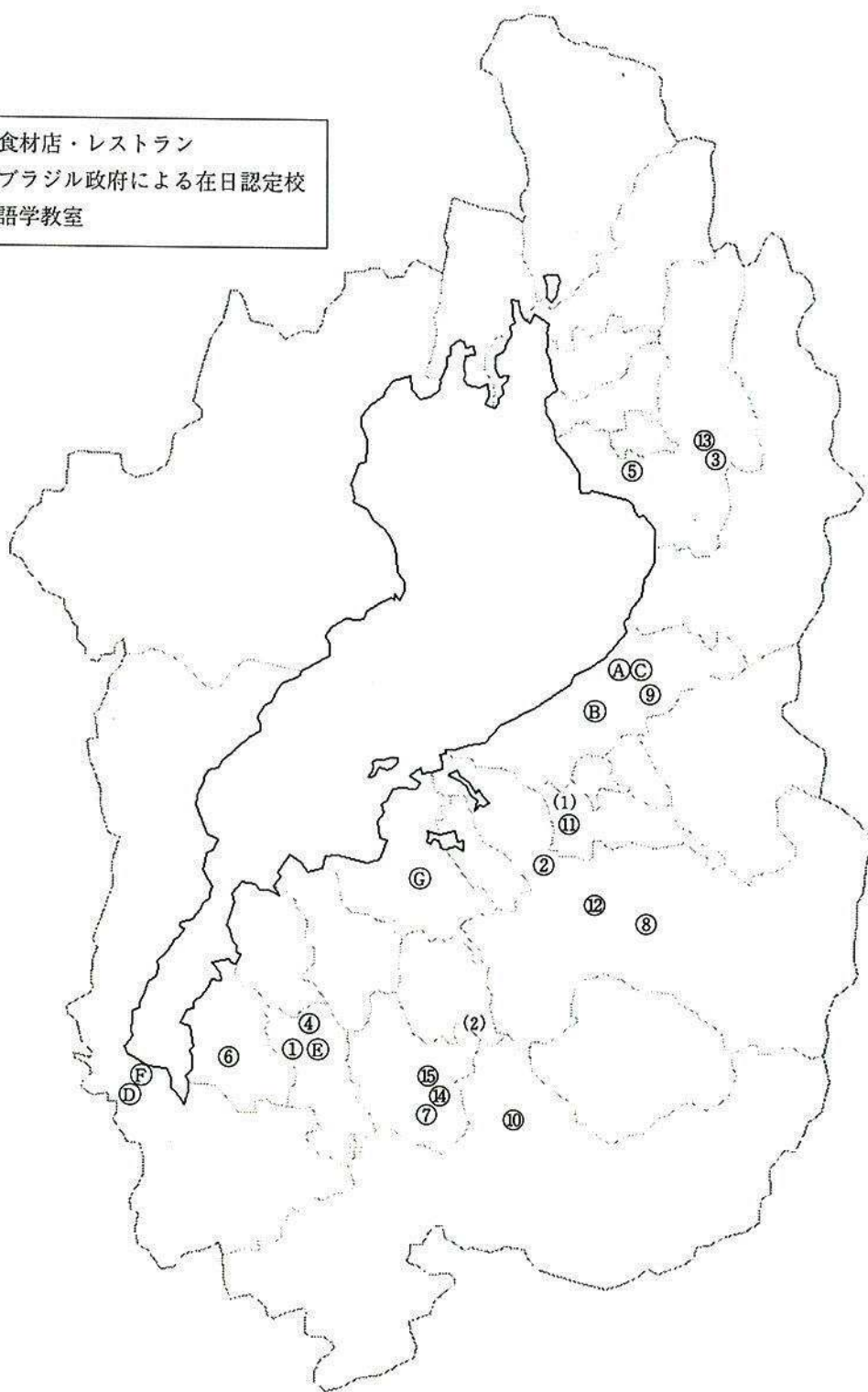


東近江市 人権のまちづくり講座

滋賀の中の南米

(平成19年3月現在)

- ①～⑮ 食材店・レストラン
- (1)・(2) ブラジル政府による在日認定校
- A～G 語学教室



■ 食材店・レストラン ■

① ペルー食材店 ANTOJITOS PERU (アントヒートス ペルー)

栗東市小柿 9-11-5 ふくしまビル 1 階

(草津駅よりあたか飯店越えて左側フレンドマート近く)

TEL 077-554-8865

営業時間 火～木曜日 11:00-22:00/金～日曜日 11:00-23:00

定休日 月曜日

② ブラジルお弁当+食材店 CANTINHO das Delicias (カンチーニョ ダス デリシャス)

東近江市五個荘町竜田 147-4 (国道 8 号線 ブラジル国旗の看板あり)

TEL 0748-48-3020

営業時間 月曜日 9:00-17:00/火曜日～日曜日 9:00-21:00

③ ブラジルレストラン Churrascaria e Pizzaria Said (サイード)

長浜市東上坂町 276 (長浜ジャスコから伊吹方面 「西濃」配送センター横)

TEL 0749-63-5428

営業時間 平日 12:00-22:00/週末 12:00-

定休日 月曜日

④ ブラジル食材店 CIA BRASIL (シア ブラジル)

栗東市大橋 2-7-4 (国道 8 号線 済生会病院前)

TEL 077-554-9434

営業時間 9:00-21:00

定休日 月曜日

⑤ ブラジル食材+雑貨+衣料品店 TOM BRASIL (トム ブラジル)

長浜市神照町 147-6

TEL 0749-64-5579

営業時間 9:00-22:00

定休日 月曜日

⑥ ブラジル食材店+移動販売 Patria Minha (パトリア ミーニャ) 本社

草津市木川町 655-11 (草津高校近く木川交差点を琵琶湖方面へ)

TEL 077-565-8292

営業時間 10:00-21:00

定休日 月曜日

⑦ ブラジル食材店 Patria Minha (パトリア ミーニャ) FURUSATO 湖南市店

湖南市吉永 351 (国道 1 号線 元ホテル寿苑)

TEL 0748-72-8292

営業時間 9:30-21:30

定休日 月曜日

資料

⑧ ブラジル軽食+食材店 Patria Minha (パトリア ミーニャ) 八日市店

東近江市林田町 1464-1 (国道 421 号線 名神高速道路高架近く)

TEL 0748-25-5376

営業時間 9:30-21:30

定休日 月曜日

⑨ ブラジル食材店 Brasil 2000 (ブラジル ドイズミュー)

彦根市高宮町 1333-2 (南彦根駅近く ビバシティ横)

TEL 0749-24-9325

⑩ ブラジル軽食+食材店 Ponto BR (ポント ベェヒー)

甲賀市水口町北脇 245 (国道 1 号線 元マルサ家具)

TEL 0748-65-1217

営業時間 10:00-22:00

定休日 火曜日

⑪ ブラジル軽食+食材店 MADE IN BRASIL (メイド イン ブラジル)

愛荘町愛知川 1317-1 (国道 8 号線 コカコーラ近く 愛知川交差点)

TEL 0749-42-5534

営業時間 火曜日～土曜日 9:00-22:00 / 日曜日 9:00-21:00

定休日 月曜日

⑫ ブラジル軽食+食材店 MADE IN BRASIL (メイド イン ブラジル)

東近江市札の辻 1-1-12 (国道 421 号線 ダイハツ横)

TEL 0748-23-7149

営業時間 9:00-22:00

定休日 月曜日

⑬ ブラジル食材店 Loja Menami Brasil (ロジャ メナミ ブラジル)

長浜市東上坂町 276 (サイド奥)

TEL 0749-63-5733

営業時間 火曜日～日曜日 10:00-21:00

定休日 月曜日

⑭ ベルーレストラン LA ESTACION (ラ エスタシオン)

湖南市朝国 178-1 (TOTO 近く)

TEL 090-4646-4039

営業時間 金曜日～日曜日 夜

⑮ ベルー食材店 LA BODEGA (ラ ボディガ)

湖南市岩根中央 2-13 (ホテルサンクレスト甲西前)

TEL 0748-72-6705

営業時間 10:00-22:00

■ ブラジル政府による在日認定校 ■

(1) Colégio Sant'Ana (コレジオ サンターナ)

愛荘町長野 2094-16

TEL/FAX 0749-42-6596

平日 6:30-22:00

土 6:30-22:00

祝日 6:30-21:00

(2) Colégio Latino de shiga (滋賀ラテン学園)

竜王町山之上 5269

TEL 0748-57-8109

FAX 0748-57-8110

Email colegiolatinojp@yahoo.com.br

平日 9:00-20:00

土 9:00-17:30

■ 語学教室 ■

<ポルトガル語>

A. ポルトガル語サークル

場 所：彦根市民会館

対 象：中級クラス

日 時：月曜日午後

連絡先：TEL 090-7348-1997

B. ポルトガル語教室

場 所：彦根サンパレス

対 象：初級クラス

日 時：毎週水曜日（5、6月）7月は2回 18:30～20:30

連絡先：TEL 0749-26-7272

C. ポルトガル語教室

場 所：彦根市民会館

対 象：日本人向け初級クラス

日 時：年2回 各7回シリーズ（開催時期、回数等は年により異なります）

連絡先：TEL 0749-30-6113 彦根市役所 市民交流課

<スペイン語>

D. スペイン語教室

場 所：逢坂市民センター（JR 大津駅前）

対 象：初級クラス

日 時：第1・3水曜日 18:30～20:00

連絡先：TEL 077-562-5264 090-3624-6750 チャベス ジャッケリネ

E. **スペイン語教室 Un poco**

場 所：栗東市勤労青少年ホーム

対 象：初級&中級クラス

日 時：第2・4水曜日 19:00～20:30

連絡先：TEL 077-562-5264 090-3624-6750 チャベス ジャッケリネ

F. **スペイン語教室 Amigos**

場 所：大津公民館（大津市民会館内）

対 象：中級クラス

日 時：毎週金曜日 19:00～21:00

連絡先：TEL 077-522-2098 伊藤 綾子

G. **スペイン語サークル**

場 所：近江八幡 YMCA 喫茶ハーモニー（JR 近江八幡駅より徒歩3分）

対 象：中級クラス（接続法までの基礎文法を終えたスペイン語学習者）

日 時：毎週木曜日 20:00～22:00

備 考：チケット制（1枚2000円5枚つづり）

連絡先：TEL 0749-28-2682 Email naokofujioka1004@hotmail.com

■ カポエイラ教室 ■

Centro Cultural de Capoeira Garra

①

場 所：彦根市京町2丁目3-2

日 時：毎週水曜 20:30～22:00

②

場 所：石山寺3丁目2-28（石山観光協会）

日 時：毎週土曜 19:00～21:00

連絡先：TEL 090-7435-5412

カポエイラとは・・・ブラジル固有の格闘技ダンス。歌や音楽に併せて踊っているようなステップから蹴りや足払いが繰り出されます。

■ 多言語情報 ■

◆ **外国人向け情報誌「みみタロウ」**

（隔月、日本語ルビ付き、英語、ポルトガル語、スペイン語、ハンガ
ル中国語＜簡体字・繁体字＞）

連絡先：TEL 077-526-0931 （財）滋賀県国際協会

◆ ラジオ

* 「オラ！ Amigo Shiga」

FM 滋賀 (77.0MHz)

金曜日 19:50～ (ポルトガル語)

* 「広報ひこねのお知らせ」

FM 彦根 (78.2MHz)

月・水・金曜日 9:20～、19:50～ (ポルトガル語)

* 「国際交流アワー (国際交流事業についてのお知らせ)」

FM 彦根 (78.2MHz)

火・木曜日 9:20～、19:50～ (日本語)

国際教育・開発教育の問い合わせ先

(平成19年3月現在)

◆ 国際教育研究会「Glocal net Shiga」

国際教育の促進

教材開発

国際教育ワークショップの開催

国際教育・開発教育についての企画相談、講師派遣

連絡先：TEL 077-526-0931 (財) 滋賀県国際協会

<http://www.s-i-a.or.jp/glocalnetshiga/glocalnetshiga.html>

◆ 滋賀県商工観光労働部国際課

国際教育講師派遣・・・小学校、中学校、高等学校や地域の生涯学習施設などへ国際交流員を派遣し、外国文化の紹介や外国語の授業を行います。

* アメリカ・ドイツ・ブラジル人CIR在籍

連絡先：TEL 077-528-3060 国際課

<http://www.pref.shiga.jp/b/kokusai/>

国際交流員（CIR）とは・・・国際交流員（CIR:Coordinator for International Relations）は地方公共団体の国際交流担当部局等で、翻訳・通訳など国際交流関係事務の補助、地域の民間国際交流団体の事業活動に対する助言、参画など国際交流活動に従事します。

◆ 滋賀県青年海外協力協会（SOCA:青年海外協力隊滋賀県OB・OG会）

開発教育や国際理解教育の推進

各種企画の実施

国際協力出前講座

学校・職場・地域の講演依頼に応え協力隊OBOGを紹介・調整

JICA ボランティアを目指す方々へのOBOGの紹介・アドバイス

JICA（青年海外協力協会）と連携し国際教育・開発教育についての企画相談・国際教育ワークショップの開催

行政・教育機関 などと協働した在住外国人支援（外国籍児童支援を含む）

SOCA WORLD BOX 貸出

連絡先：TEL 077-573-8313 Email:sanobaba@h5.dion.ne.jp

<http://www.h7.dion.ne.jp/~soca/>

◆ 独立行政法人国際協力機構 大阪国際センター（JICA 大阪）

国際協力・開発に関する図書資料室

開発教育支援事業プログラム

（JICA 大阪訪問、研修員との交流、職場体験プログラム、開発教育指導者研修、

教師海外研修、写真パネル・民芸品貸出、等)

連絡先：〒567-0058 大阪府茨木市西豊川町 25-1

TEL：072-641-6900 (代表) FAX：072-641-6910

<http://www.jica.go.jp/worldmap/kinki.html#osaka>

JICA 国際協力推進員 (滋賀配置)

(財) 滋賀県国際協会内

TEL：077-526-0931 FAX：077-510-0601

Email：jicadpd-desk-shigaken@jica.go.jp

青年海外協力隊応募・派遣について

国際協力出前講座コーディネート

◆ 国立民族学博物館

学習キット みんなの民族衣装・生活道具の貸出

連絡先：〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1 国立民族学博物館

国立民族学博物館「みんなの民族衣装」担当係

TEL：06-6876-2151 FAX：06-6878-7523

<http://www.minpaku.ac.jp/museum/kids/minpack/>

◆ JICA 横浜 海外移住資料館

移民についての学習

資料館訪問

移民カルタ・紙芝居の貸出

「学習活動の手引き」の提供

連絡先：〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 2-3-1 赤レンガ国際館

TEL：045-663-3257 FAX：045-211-1781

Email：info@jomm.jp <http://www.jomm.jp/>

◆ (特活) 開発教育協会 (DEAR)

開発教育の推進、調査研究、情報収集・発信

世界各地の関係団体との情報交換やネットワークづくり

政府との対話、政策提言

連絡先：〒112-0002 東京都文京区小石川 2-17-41-3 階

TEL：03-5844-3630 FAX：03-3818-5940

<http://www.dear.or.jp/>

◆ (特活) 国際理解教育センター (ERIC)

国際理解教育の推進

テキスト販売

ファシリテーターの研修・派遣

連絡先：〒114-0023 東京都北区滝野川 1-93-5 コスモ西巣鴨 105

TEL：03-5907-6054 FAX：03-5907-6095

1937	移民 1 人あたり 50 円の支度金払う 日中戦争（～1945）	1934 1937 1938	ブラジルが移民の入国制限 ブラジル、ポルトガル語以外の教育禁止 ブラジル、移民同化政策始まる
1939	第 2 次世界大戦（～1945）		
1941	ブラジルへぶえのすあいれす丸出発 移民 途絶える（笠戸丸～ぶえのすあいれす丸 18 万 8,000 人の日本人移民がブラジルへ）		
1942	日本とブラジルの国交が断絶	1942	米とカナダで日系人の強制収容 中南米 13 カ国から約 2300 人の日本人移民が米 に連行され強制収容所へ 海外の日系人組織の協力
1945	ポツダム宣言受諾 日本無条件降伏		
戦後	終戦後、日本へ「アジア救援公認団体」より 「ララ物資」が届く ← 食糧難 失業 人口増加＝解決策の 1 つが海外移住		
1947	海外移住協会発足		
1951	外務省欧米局第 2 課に移民班設置		
1952	対日講和条約が発効し、日本人の海外移住が 再開、日本政府により渡航費貸付 戦後の第 1 回アマゾン計画移民が出発		
1953	外務省移民班が移民課に昇格		
1954	移住業務公的機関として（財）日本海外協会 連合会発足	1954	第 1 回パラグアイ国計画移民が出発
1955	外務省に移民局設置「移民」を「移住」に改称		
		1956	第 1 回ドミニカ共和国移住者 28 家族出発（合 計 249 家族 1319 人移住）
		1957	ボリビアと移住協定締結
		1959	第 1 回アルゼンチン計画移住者出発 パラグアイと移住協定締結
1966	日本政府が移住者へ渡航費全額支給	1960 後半 1970 前半	ブラジルの高度経済成長期「 <u>ブラジルの奇跡</u> 」 日系企業のブラジル進出盛んに
1972	沖縄本土復帰		
1973	横浜港から南米への最後の移住者輸送船「に っぽん丸」 285 名（戦後は 7 万人が移住） →以降は航空機で移住者を輸送		
1980s	「 <u>バブル経済</u> 」＝日本の経済発展 人手不足解消のためブラジルに住む日本人・2 重 国籍者に対して日本での就労を勧誘	1980s	ブラジル不況「 <u>失われた 10 年</u> 」 南米に住む日本人・2 重国籍者、日本へ出稼ぎ増加 ＜移民の U ターン＞
1989	改正入管法成立		
1990	出入国管理及び難民認定法の改正により日 本における日系人の就労緩和	1990	ヘルーで初の日系大統領誕生
1993	日本政府の支援による移住者送出事業終了	1990s	「dekasegi」がポルトガル語にまでなる日系ブ ラジル人の日本での就労増加
1995	日本ブラジル修好 100 周年		
1997	メキシコ日本人移住 100 周年		
1999	ペルー、ボリビア日本移住 100 周年		
2000s	30 万人を越える日系人が住む 「永住資格」を持つ日系人の増加	2000s	海外の日系社会 250 万人以上、5 世まで存在

（出典：ブラジル日本移民史料館、JICA横浜 海外移住資料館）

私たち、「国際教育研究会 **Glocal net Shiga** (ぐローかる ネット し が)」は平成 15 年 (2003 年) 4 月に立ち上がったグループです。名前にある **“Glocal”** とは Global + Local を結びつけた造語です。**“Think Globally, Act Locally”** (地球規模で考え、地域から行動する) という開発教育/地球市民教育/グローバル教育の地域社会に対する考え方を現すことばがあり、地球と地域を結ぶことばとして生まれました。

このような考え方をうけ、地元滋賀 (Shiga) で地域に根ざした人たちをつなぎ (Network)、みんなで一緒に地球市民を育む活動に取り組んでいきたいという思いが込められています。

会のねらいについて

- 地球上には、自国文化を含め、さまざまな生活・文化等があることを知り、多様性を受け入れること **多様性の尊重**
- 地域には、さまざまな文化背景や価値観等をもつ人びとがともに暮らしていることを認識し、多文化共生の意識を育むこと **多文化共生社会づくり**
- 世界と自分はつながっていること、自分たちの生活と地球のどこかで起こっている問題が密接につながっていることを理解すること **相互依存関係の理解**
- 地球的課題を解決するために行動すること **公平・平和な社会づくり**
など

こうしたことをねらいとして、さまざまな実践方法 (おもに参加型学習法) を学びながら、国際教育を促進することを目的としています。教育関係者・国際協力 NGO 関係者・外国人住民・地域国際協会関係者、学生、青年海外協力隊 OV など、さまざまな立場や経歴の持ち主が参加しています。これまでに滋賀県の特徴を生かした題材をとらえ、「ブラジルボックス」・「カルタ “わたしん家 (ち) の食事から”」などの教材を開発してきました。また、より多くの方に国際教育を体験していただくよう年数回、国際教育ワークショップを開催しております。今後も幅広い知識や情報の交換を行い、より深みのある内容を取り上げていきたいと考えています。

入会について

毎月 1 回日曜日に例会を開催しています。さまざまな経歴のメンバーが集まるクラブ活動のような会です。渡航経験や語学については、まったく心配していただく必要はありませんので、この研究会にご関心のある方は、お気軽に下記までお問い合わせください。

国際教育・開発教育についての企画相談、講師派遣も随時承ります。

<お問合せ先>

財団法人滋賀県国際協会 担当 大森

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜 1-1-20 ピアザ淡海 2 階

電話: 077-526-0931 ファックス: 077-510-0601

E-mail: omori@s-i-a.or.jp

研究会18年度の動き

開催日	内 容
4/23	アクティビティ体験「Popoki's Peace Message～ポーポキといっしょに平和を感じよう～」
5/21	「カルタ“わたしん家の食事から”」出版 ブラジルボックス改良
6/10	滋賀大学協働ワークショップ「ネパールからのメッセージ」 カマル・フィヤルさん
6/18	きらり☆NPO・ボランティア活動フェアにて 活動紹介
6/25	ガールスカウト・リーダー研修にて カルタワークショップ 滋賀県総合教育センター「10年経験者研修」についての話し合い、研修の流れについて
6/27	滋賀県総合教育センター「10年経験者研修」にて カルタワークショップ
7/23	ファシリテーター派遣について打ち合わせ
7/27	国際教育ワークショップ「地球市民を地域とともに育てよう part5」開催 世界の課題からジェンダーを考える 三輪 敦子さん
8/5	開発教育協会 全国研究集会 自主ラウンドテーブルにて カルタワークショ ップ
8/6	能登川図書館にて 親子ワークショップ（カルタ他）
8/19	琵琶湖 沖島にて 多国籍（日本・ブラジル他）児童対象ピースイベント
8/22	滋賀県総合教育センター「初任者研修」にて ブラジルボックス&100人村ワークショ ップ
9/17	おうみ多文化交流フェスティバルにて 国際教育ブース出展
10/9	秋きらり☆NPO・ボランティア活動フェアにて 活動紹介
10/15	カルタ&ブラジルボックス改良
11/18	開発教育協会 開発教育セミナー「地域でつくりよう 多文化共生」にて ブラジルボックス+カルタワークショップ
11/26	元滋賀県海外派遣職員にブラジル事情聞き取り
12/17	18年度国際教育報告書・19年度活動計画について話し合い
1/21	ブラジルボックス追加小物について話し合い 「コンビニクイズ」、「食育教材」紹介
1/28	新春きらり☆NPO・ボランティア活動フェアにて 活動紹介
2/3	開発教育協会地域連絡会議参加
2/18	19年度教員研修についての話し合い
2/25	大阪市旭区人権啓発推進会 国際協力と市民参画のまちづくりワークショップにて 「地域でつくりよう 多文化共生社会」外国籍住民の視点から+カルタワークショップ
3/18	18年度の活動についてふりかえり 19年度活動計画について話し合い



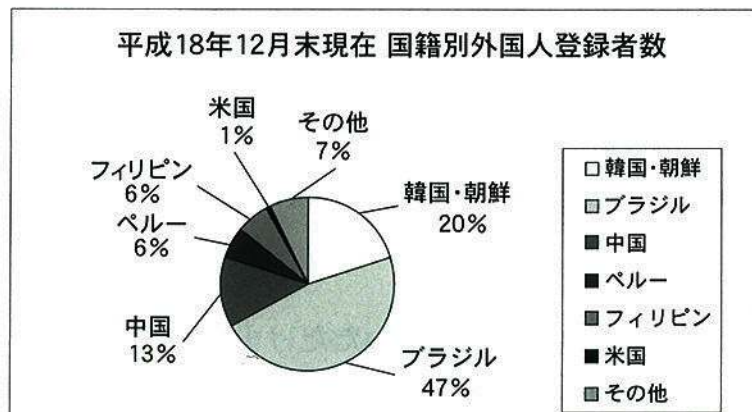
おうみ多文化交流フェスティバルにて



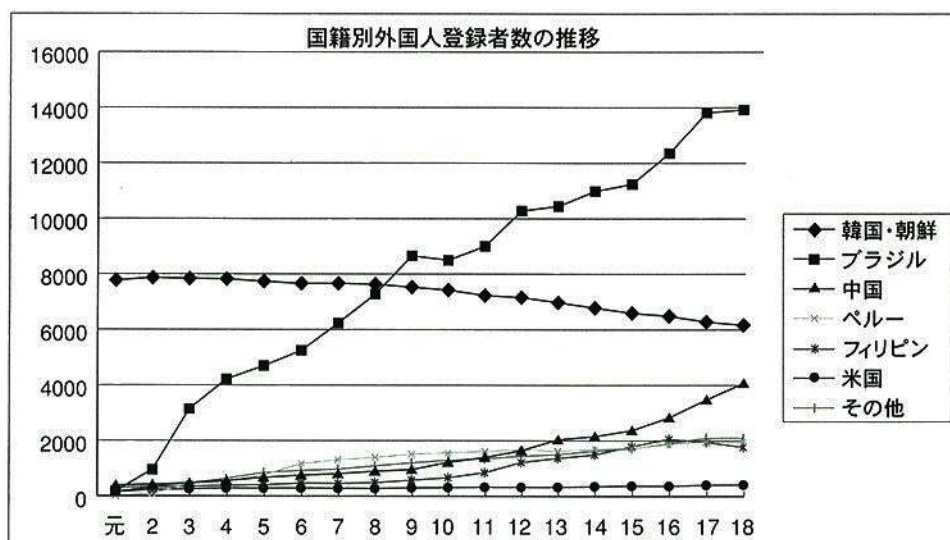
教育協会開発教育セミナー「地域でつくりよう多文化共生」

滋賀県における外国人登録者数

財団法人滋賀県国際協会 作成



国 籍	登録者数
韓国・朝鮮	6,160 人
ブラジル	13,922 人
中国	4,069 人
ペルー	1,967 人
フィリピン	1,769 人
米国	415 人
その他	2,104 人
合計	30,406 人



外国人登録者数の比率が2%以上の市町村（平成18年12月末現在）

	市町村名	外国人登録者数	総人口	外国人比率	備考(上位3国籍)
1	湖南市	3,323	56,486	5.88	ブラジル2,061人、韓国・朝鮮427人、ペルー395人
2	愛荘町	1,052	20,043	5.25	ブラジル674人、中国人152人、韓国・朝鮮83人
3	長浜市	3,962	84,584	4.68	ブラジル2,704人、ペルー368人、中国285人
4	東近江市	3,973	118,433	3.36	ブラジル2,641人、中国356人、韓国・朝鮮312人
5	甲賀市	2,943	95,772	3.07	ブラジル1,638人、韓国・朝鮮342人、ペルー337人
6	安土町	319	12,484	2.56	ブラジル222人、韓国・朝鮮39人、コロンビア14人
7	栗東市	1,367	62,911	2.17	ブラジル502人、韓国・朝鮮277人、ペルー242人、
8	彦根市	2,363	111,053	2.13	ブラジル805人、中国577人、韓国・朝鮮310人
	県全体	30,406	1,401,668	2.17	

※滋賀県商工観光労働部国際課の調査に基づく。

※県民46人に1人が外国人（H18年12月現在の統計から）